

(2) 鳥類

鳥類相の確認状況は表 8.8-3 (1)~(3)に、主な確認種は写真 8.8-2 に示すとおりである。また、注目すべき種の確認状況は、表 8.8-4 及び図 8.8-5~図 8.8-9 に示すとおりである。

春季、初夏、夏季及び秋季調査では、キジ、カルガモ、アオサギ、ノスリ、ムクドリ、ハクセキレイ等 31 科 79 種が確認された。

水辺ではカルガモやオオバン等の水辺の鳥が、河川敷や耕作地周辺ではヒバリ、ホオジロ等の農耕地や河川草地の鳥が確認された。春季から夏季にかけては、カッコウ、オオヨシキリ等の夏鳥が、秋季にはマガン、ノビタキ等の冬鳥や旅鳥が確認された。

このうち、注目すべき種は、マガン、チュウサギ等の水鳥、ミサゴ、ノスリ等の猛禽類、ヒバリ、セッカ、ホオアカ等草地性の種など 20 科 37 種であった。

表 8.8-3 (1) 鳥類相の確認状況

No.	科名	種名	評価書						工事中 (H29~H30年)						供用後 (R2年)							
			秋季	冬季	春季	初夏	夏季	計	秋季	冬季	春季	初夏	夏季	計	春季	初夏	夏季	秋季	冬季	計		
1	キジ	キジ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2	カモ	オオヒシクイ																	○	○		
3		マガン	○					○	○	○									○	○		
4		シジュウカラガン																		○	○	
5		コハクチョウ	○	○				○	○						○					○	○	
6		アメリカコハクチョウ																		○	○	
7		オオハクチョウ	○	○					○	○					○	○				○	○	
8		オシドリ																		○	○	
9		オオヨシガモ	○	○	○				○						○						○	
10		ヒドリガモ	○	○	○	○	○	○	○		○				○	○				○	○	
11		マガモ	○	○	○	○	○	○	○	○					○		○	○	○	○	○	
12		カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13		ハシビロガモ	○		○				○	○	○				○	○				○	○	
14		オナガガモ	○	○				○	○	○	○				○					○	○	
15		トモユガモ																			○	○
16		コガモ	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○				○	○	
17		ホシハジロ		○	○				○	○					○						○	○
18		キンクロハジロ		○	○	○			○	○	○									○	○	○
19		スズガモ		○	○				○		○	○			○	○				○		○
20		クロガモ		○					○						○							○
21		ホオジロガモ	○	○	○	○			○		○				○	○					○	○
22		ミコアイサ		○					○						○						○	○
23		カワアイサ		○					○		○				○						○	○
24		ウミアイサ			○				○												○	○
25		カイツブリ	カイツブリ	○	○	○			○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○
26	カンムリカイツブリ			○	○				○					○	○	○	○	○	○	○	○	
27	ミミカイツブリ			○					○													○
28	ハジロカイツブリ		○						○	○					○							○
29	ハト	キジバト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
30	ウ	カワウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
31		ウミウ	○	○				○	○												○	○
32	サギ	ヨシゴイ						○	○										○	○	○	
33		ゴイサギ	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○				○	○	
34		ササゴイ		○			○	○	○					○	○	○					○	○
35		アマサギ					○	○	○											○		○
36		アオサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37		ダイサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38		チュウダイサギ							○		○	○	○	○	○	○						○
39		チュウサギ					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40		コサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	クイナ	クイナ	○					○														
42		バン					○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	
43		オオバン	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○
44	カッコウ	ホトトギス				○		○					○		○							
45		カッコウ				○		○						○	○							○
46	アマツバメ	アマツバメ	○					○														
47	チドリ	タグリ			○			○														
48		ケリ			○			○														
49		ムナグロ	○		○				○					○		○						
50		イカルチドリ	○					○														

表 8.8-3 (2) 鳥類相の確認状況

No.	科名	種名	評価書					工事中(H29~H30年)					供用後(R2年)							
			秋季	冬季	春季	初夏季	夏季	計	秋季	冬季	春季	初夏季	夏季	計	春季	初夏季	夏季	秋季	冬季	計
51	チドリ	コチドリ			○	○	○	○			○	○		○	○	○	○			○
52	シギ	セイタカシギ			○									○						○
53		オオジシギ											○	○						
54		タシギ	○	○	○	○	○	○	○		○			○	○					○
55		チュウシャクシギ			○	○	○	○				○	○	○						
56		アオアシシギ	○			○	○	○						○		○				○
57		クサシギ	○					○	○											
58		タカブシギ			○		○	○												
59		キアシシギ				○	○	○					○							
60		ソリハシギ										○		○						
61		イソシギ		○	○			○	○	○	○			○	○				○	○
62		オバシギ																○		○
63		トウネン				○	○	○	○				○		○					
64		ウズラシギ	○					○												
65		ハマシギ																○		○
66	カモメ	ユリカモメ	○		○	○	○	○		○				○	○					○
67		ウミネコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68		カモメ		○				○												
69		セグロカモメ			○			○	○					○					○	○
70		オオセグロカモメ	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○						
71		クロハラアジサシ	○					○												
72	ミサゴ	ミサゴ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73	タカ	トビ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74		オジロワン																	○	○
75		チュウヒ												○						○
76		ハイタカ			○			○												
77		オオタカ	○	○	○			○	○	○			○	○					○	○
78		サシバ			○			○						○						○
79		ノスリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
80	フクロウ	フクロウ								○				○						○
81		トラフズク												○						
82		コミミズク	○					○		○				○						
83	カワセミ	カワセミ	○		○			○	○				○	○		○	○	○	○	○
84	キツツキ	コゲラ	○	○	○			○	○											
85		アカゲラ	○	○	○			○	○	○				○	○					○
86		アオゲラ	○					○	○					○						
87	ハヤブサ	チョウゲンボウ	○	○		○	○	○	○	○			○	○		○	○	○	○	○
88		コチョウゲンボウ	○	○	○			○	○	○				○	○				○	○
89		ハヤブサ	○	○		○	○	○	○	○			○	○		○	○	○	○	○
90	モズ	モズ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
91	カラス	オナガ			○			○												
92		ミヤマカラス	○	○				○						○						○
93		ハシボソカラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
94		ハシブトカラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
95	キクイタダキ	キクイタダキ	○					○			○			○						
96	シジュウカラ	ヤマガラ			○			○									○			
97		ヒガラ	○					○												
98		シジュウカラ	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
99	ヒバリ	ヒバリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
100	ツバメ	ショウドウツバメ						○	○									○		
101		ツバメ	○		○	○	○	○			○	○	○	○		○			○	○
102	ヒヨドリ	ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
103	ウグイス	ウグイス	○		○			○	○	○	○	○	○	○			○	○		○
104	エナガ	エナガ		○				○												
105	ムシクイ	メボソムシクイ							○					○						
106		センダイムシクイ						○												
107	メジロ	メジロ	○		○			○	○											
108	ヨシキリ	オオヨシキリ				○	○	○				○	○	○		○	○			○
109		コヨシキリ											○	○		○	○	○		○
110	セッカ	セッカ	○					○	○			○	○	○		○	○			○
111	ミソサザイ	ミソサザイ		○				○												
112	ムクドリ	ムクドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
113		コムクドリ					○	○												
114	ヒタキ	クロツグミ	○					○						○						
115		マミチヤジナイ							○					○						
116		シロハラ		○				○												
117		アカハラ							○					○						
118		ツグミ	○	○	○			○	○	○	○			○	○				○	○
119		ジョウビタキ	○	○				○	○					○	○				○	○
120		ノビタキ	○		○			○	○					○	○				○	○

表 8.8-3 (3) 鳥類相の確認状況

No.	科名	種名	評価書						工事中(H29~H30年)						供用後(R2年)							
			秋季	冬季	春季	初夏	夏季	計	秋季	冬季	春季	初夏	夏季	計	春季	初夏	夏季	秋季	冬季	計		
121	ヒタキ	イソヒヨドリ	○					○	○	○				○	○				○	○	○	
122		エゾビタキ																	○	○	○	
123		コサメビタキ							○		○			○								
124		キビタキ							○					○								
125	スズメ	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
126	セキレイ	ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
127		セグロセキレイ	○				○	○							○	○			○	○	○	
128		ビンズイ	○					○		○				○								
129		タヒバリ	○	○	○			○	○	○		○		○	○				○	○	○	
130	アトリ	アトリ		○				○							○					○	○	
131		カララヒワ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
132		マヒワ	○	○	○			○														
133		ベニマシコ	○	○				○			○			○							○	○
134		シメ	○	○	○			○		○	○			○	○				○	○	○	○
135	ホオジロ	ホオジロ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
136		ホオアカ		○				○			○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
137		カシラダカ	○	○	○			○			○			○						○	○	○
138		アオジ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
139		クロジ			○			○														
140		コジュリ			○			○														
141		オオジュリ	○	○	○			○			○			○	○						○	○
142	ハト	カララバト(ドバト)	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
合計	38科	142種	78種	68種	72種	53種	63種	121種	60種	59種	44種	43種	43種	95種	59種	44種	44種	57種	61種	96種		



アマサギ
(令和2年6月15日撮影)



ミサゴ
(令和2年7月21日撮影)



チョウゲンボウ
(令和2年7月21日撮影)



モズ
(令和2年7月21日撮影)



ヒバリ
(令和2年7月20日撮影)



オオヨシキリ
(令和2年6月15日撮影)

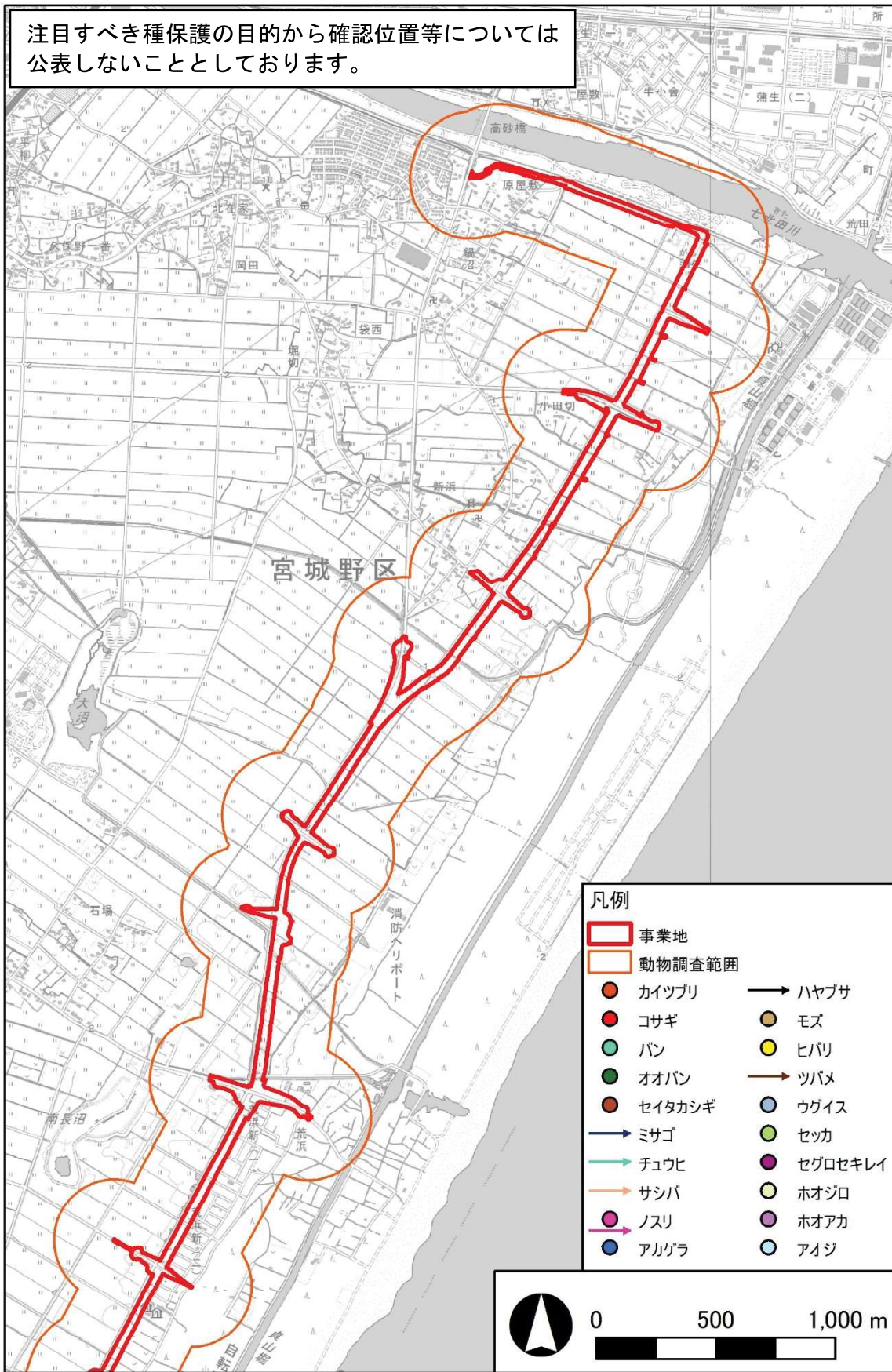
写真 8.8-2 主な確認種

表 8.8-4 注目すべき種の確認状況

No.	科名	種名	評価書	工事中 (H29～ H30)	供用後						重要種選定基準 ^{※1}					
					(R2)	春季	初夏季	夏季	秋季	冬季	①	②	③	④	⑤	
1	カモ	オオヒシクイ			○					○	天		NT		C	
2		マガン	○	○	○				○	○	天		NT		1, 4, B	
3		シジュウカラガン			○							国内	CR	VU		
4		オシドリ			○						○			DD		1, 4
5		トモエガモ			○						○			VU		
6	カイツブリ	カイツブリ	○	○	○	○	○	○	○	○					C	
7	サギ	ヨシゴイ	○		○		○	○					NT	NT	1, 4, C	
8		アマサギ	○		○		○								4	
9		チュウサギ	○	○	○		○	○	○				NT		1, 2, 4, C	
10		コサギ	○	○	○	○	○	○	○							2 ^{※2}
11	クイナ	クイナ	○											YO	1, 4, B	
12		パン	○	○	○	○	○	○	○							1, 4, C
13		オオパン	○	○	○	○	○	○	○	○						B
14	カッコウ	ホトトギス	○	○												1, 4, C
15		カッコウ	○	○	○		○	○								1, 4, C
16	チドリ	ケリ	○										DD	YO		
17		イカルチドリ	○													1, 4, B
18	シギ	セイタカシギ	○		○	○							VU			
19		オオジシギ		○									NT	NT	1, 4, B	
20		タカブシギ	○											VU		
21		ハマシギ			○					○				NT		1, 4, C
22	ミサゴ	ミサゴ	○	○	○	○	○	○	○	○			NT		1, 4, C	
23	タカ	オジロワシ			○						天	国内	VU	VU	1, 2, 4, B	
24		チュウヒ			○	○						国内	EX	NT	1, 4, C	
25		ハイタカ	○										NT	NT	1, 4, C	
26		オオタカ	○	○	○					○				NT	NT	1, 4, B
27		サシバ	○		○	○								VU	VU	1, 4, C
28		ノスリ	○	○	○	○	○	○	○	○						C
29	フクロウ	フクロウ		○	○											1, B
30		トラフズク		○												1, B
31		コミミズク	○	○											YO	1, B
32	カワセミ	カワセミ	○	○	○		○	○	○	○						1, 4, C
33	キツキ	アカゲラ	○	○	○	○										C
34		アオゲラ	○	○												C
35	ハヤブサ	チョウゲンボウ	○	○	○		○	○	○							1, 4, B
36		ハヤブサ	○	○	○	○				○	○		国内	VU	NT	1, 4, B
37	モズ	モズ	○	○	○	○	○	○	○	○						1, C
38	ヒバリ	ヒバリ	○	○	○	○	○	○	○	○						C
39	ツバメ	ツバメ	○	○	○	○	○	○	○							C
40	ウグイス	ウグイス	○	○	○	○			○	○						1, 4, C
41	ヨシキリ	オオヨシキリ	○	○	○			○	○							1, 4, C
42		コヨシキリ		○	○				○	○	○					
43	セッカ	セッカ	○	○	○	○	○	○								1, 4, C
44	ヒタキ	クロツグミ	○	○												1, 4, C
45	セキレイ	セグロセキレイ	○		○	○	○		○	○						4, C
46	ホオジロ	ホオジロ	○	○	○	○	○	○	○	○						C
47		ホオアカ	○	○	○	○	○	○	○							B
48		アオジ	○	○	○	○	○	○	○	○						C
49		コジュリン	○											VU	VU	1, 4, B
	22科	49種	38種	31種	37種	20種	22種	21種	22種	18種	3種	4種	20種	13種	44種	

※1：表中の番号①～⑤は表 7.9-4 の選定基準に対応している

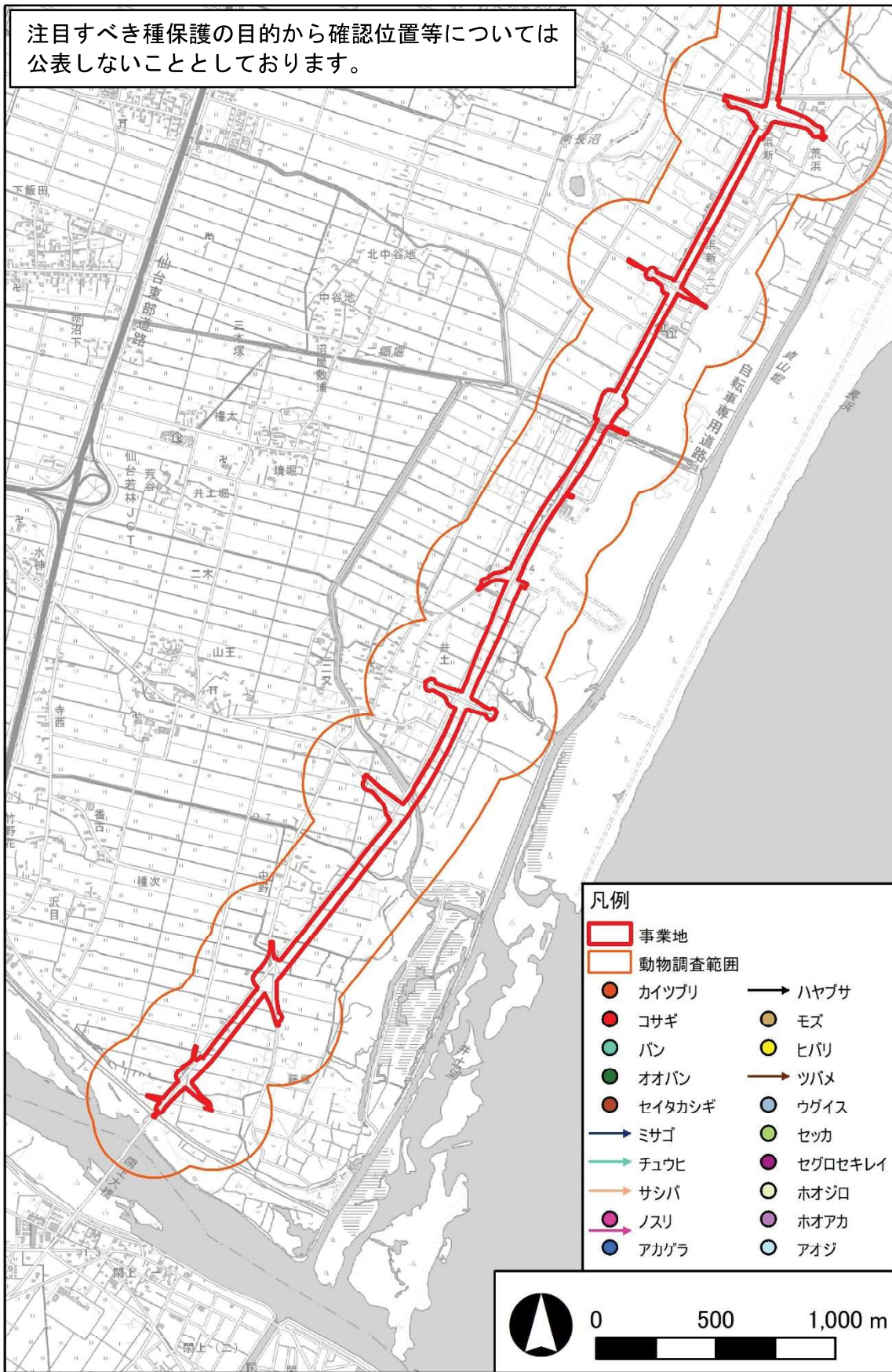
注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。



※●は静止、轉りなどの地点での確認を、→は飛翔中の確認を示す。

図 8.8-5 (1) 注目すべき種の確認位置：鳥類春季（北側）

注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。



※●は静止、轉りなどの地点での確認を、→は飛翔中の確認を示す。

図 8.8-5 (2) 注目すべき種の確認位置：鳥類春季（南側）

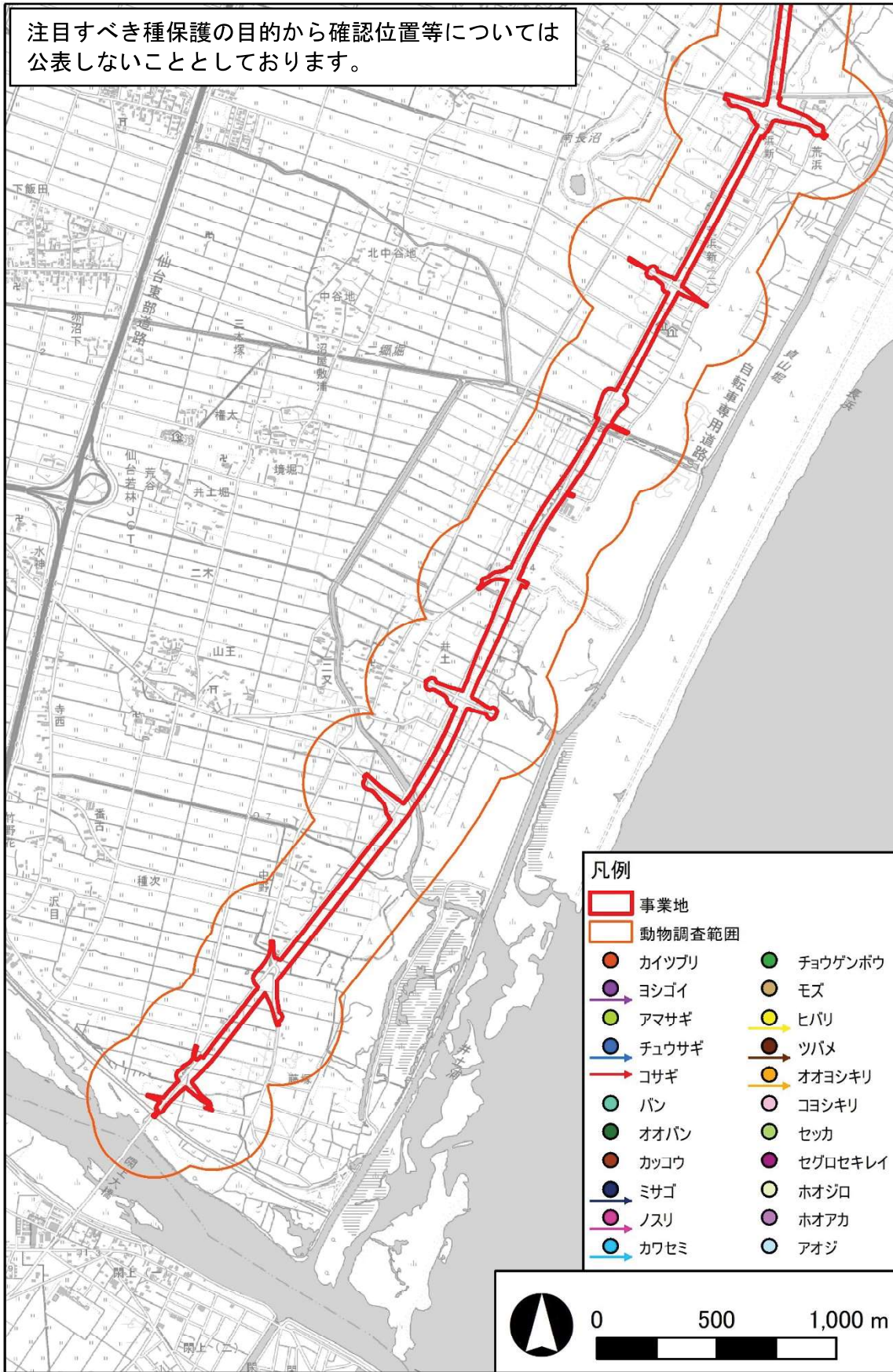
注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。



※●は静止、轉りなどの地点での確認を、→は飛翔中の確認を示す。

図 8.8-6 (1) 注目すべき種の確認位置：鳥類初夏季（北側）

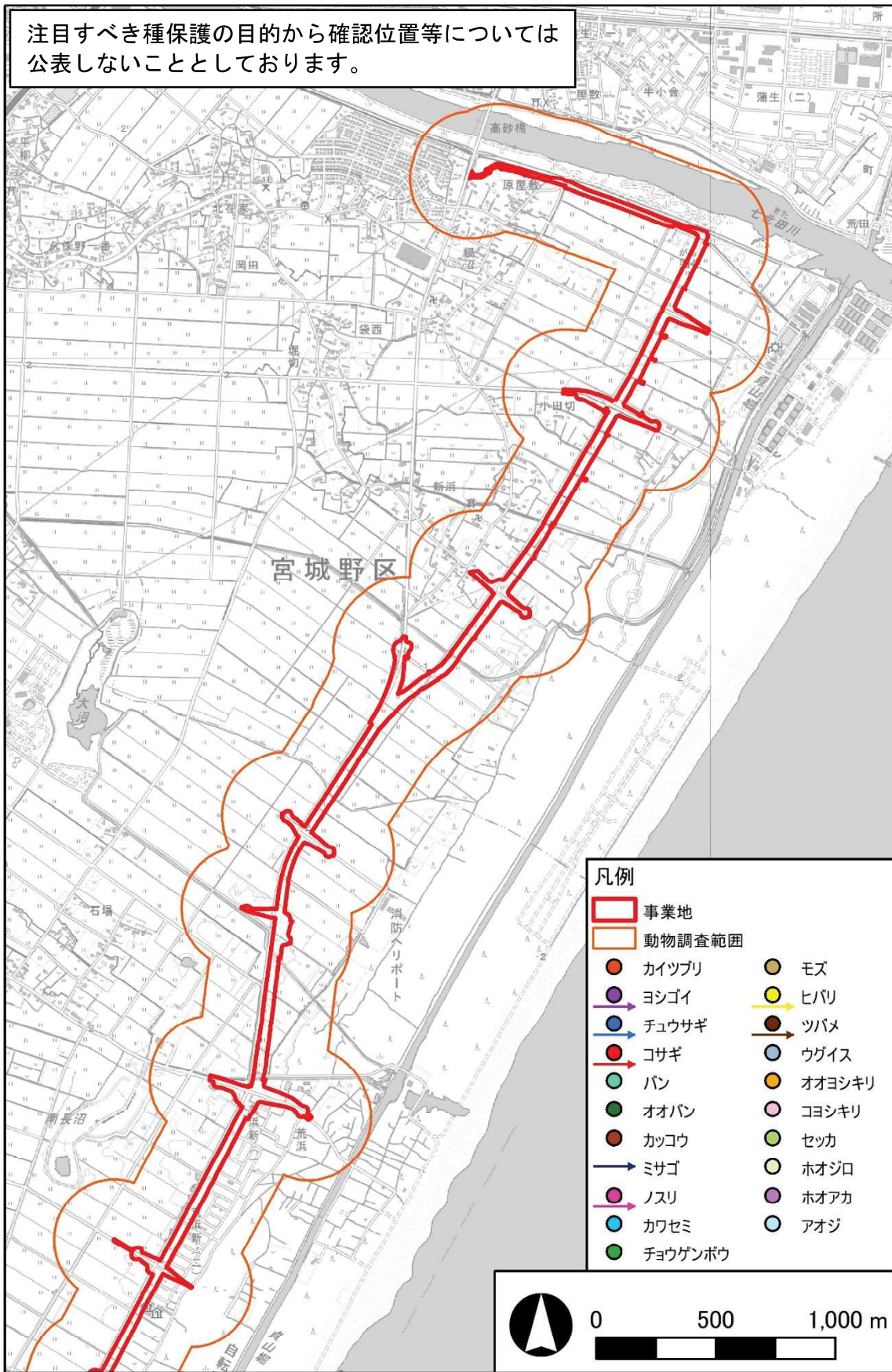
注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。



※●は静止、轉りなどの地点での確認を、→は飛翔中の確認を示す。

図 8.8-6 (2) 注目すべき種の確認位置：鳥類初夏季（南側）

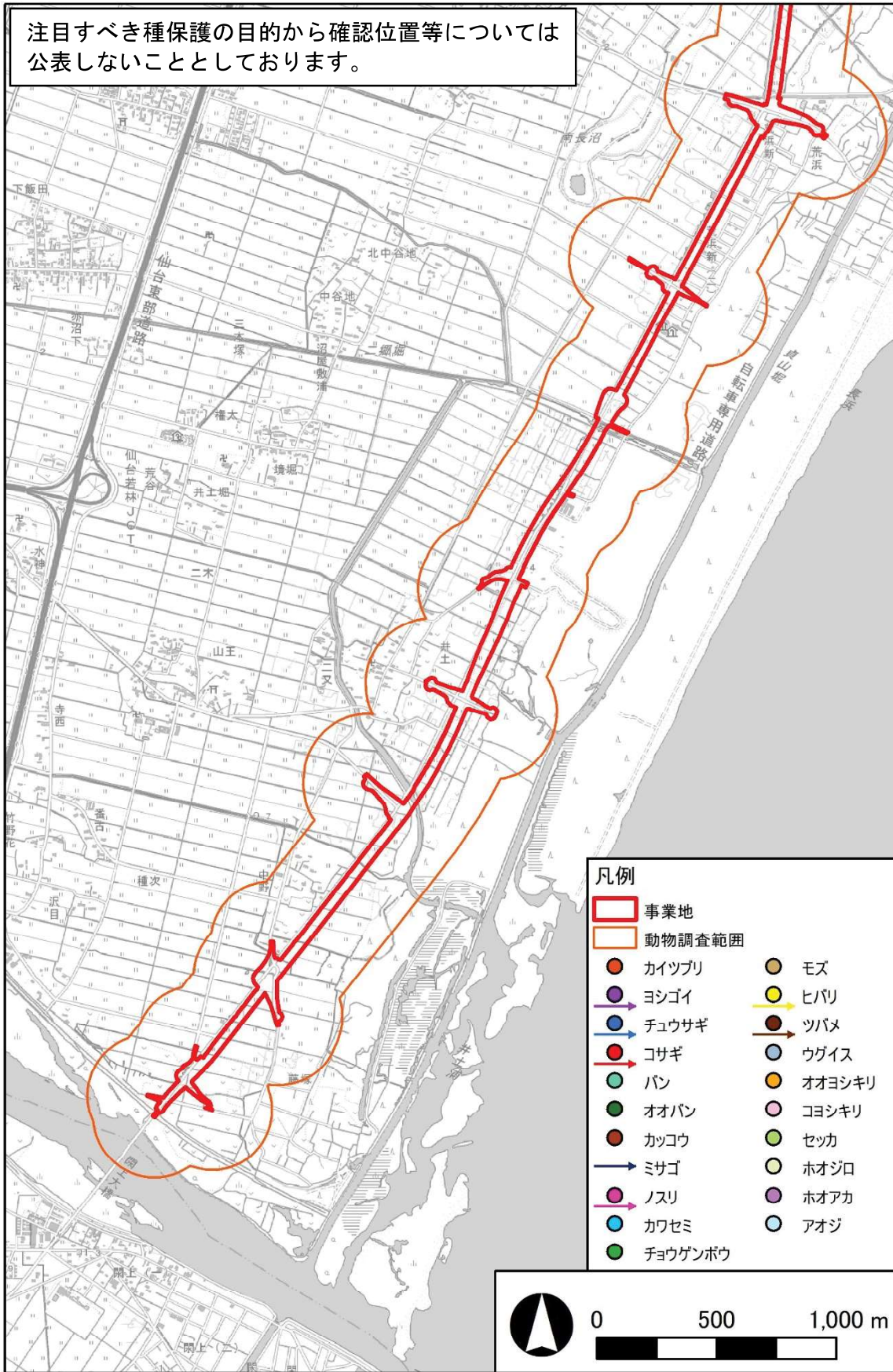
注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。



※●は静止、轉りなどの地点での確認を、→は飛翔中の確認を示す。

図 8.8-7 (1) 注目すべき種の確認位置：鳥類夏季（北側）

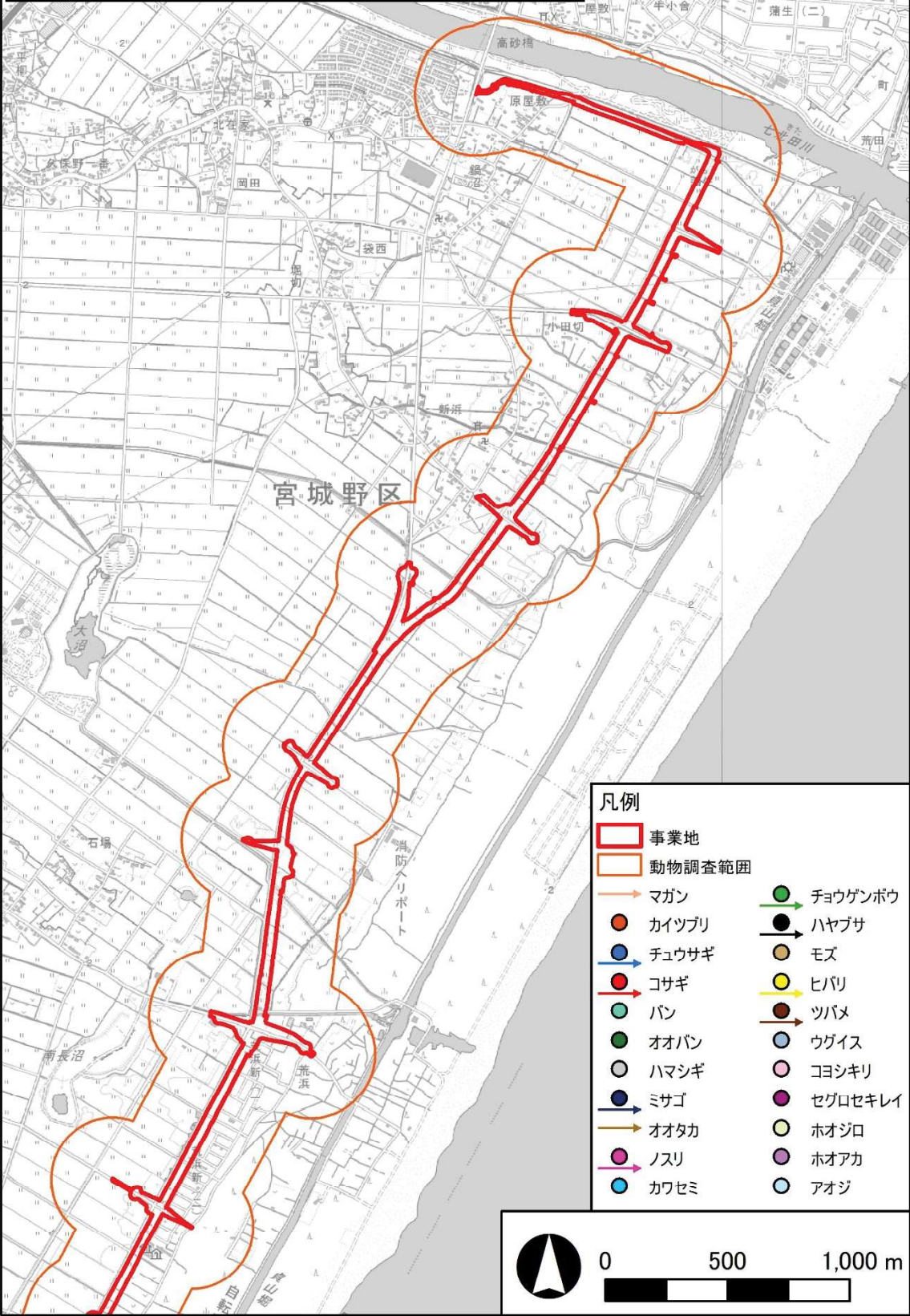
注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。



※●は静止、轉りなどの地点での確認を、→は飛翔中の確認を示す。

図 8.8-7 (2) 注目すべき種の確認位置：鳥類夏季（南側）

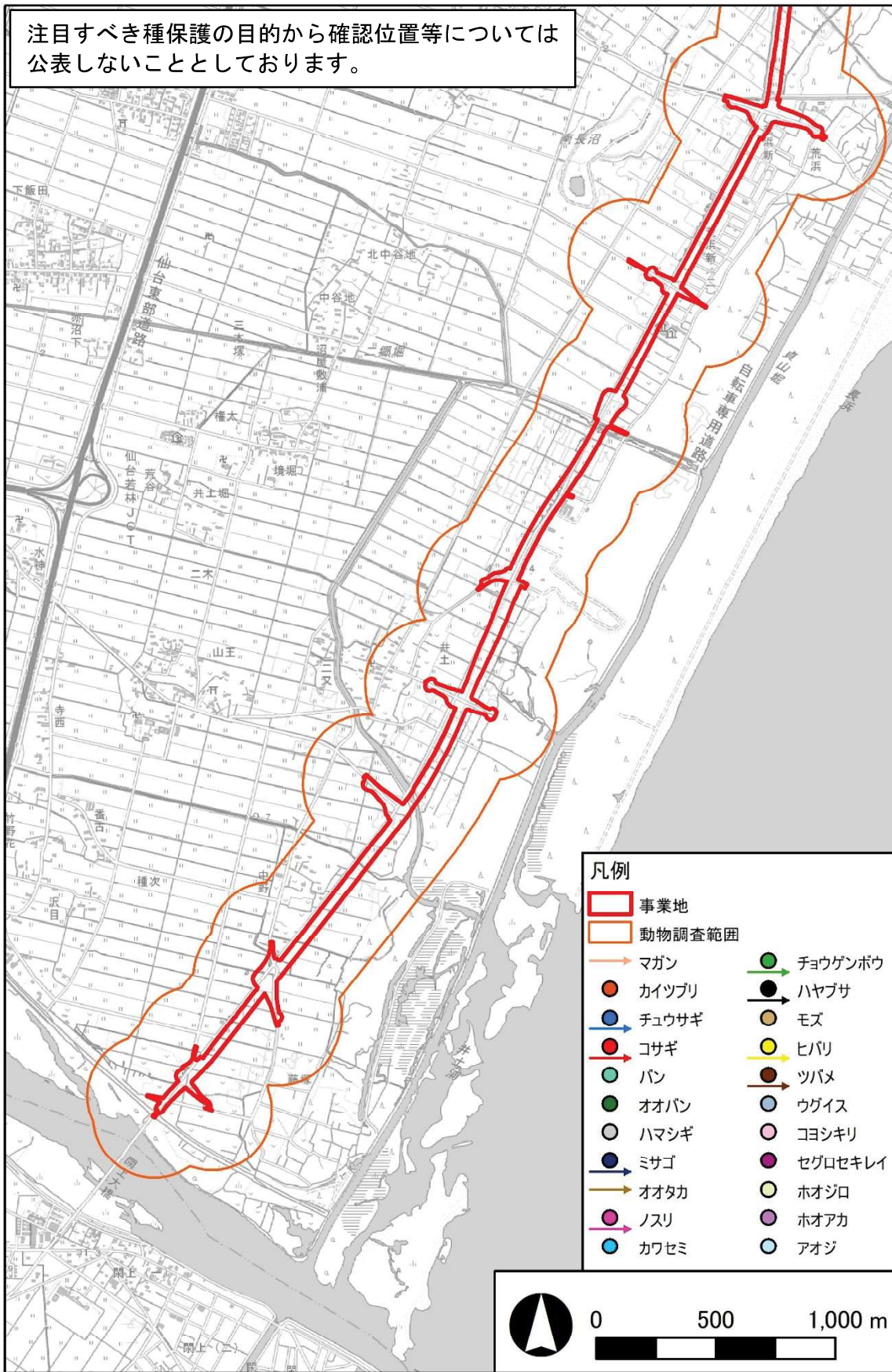
注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。



※●は静止、轉りなどの地点での確認を、→は飛翔中の確認を示す。

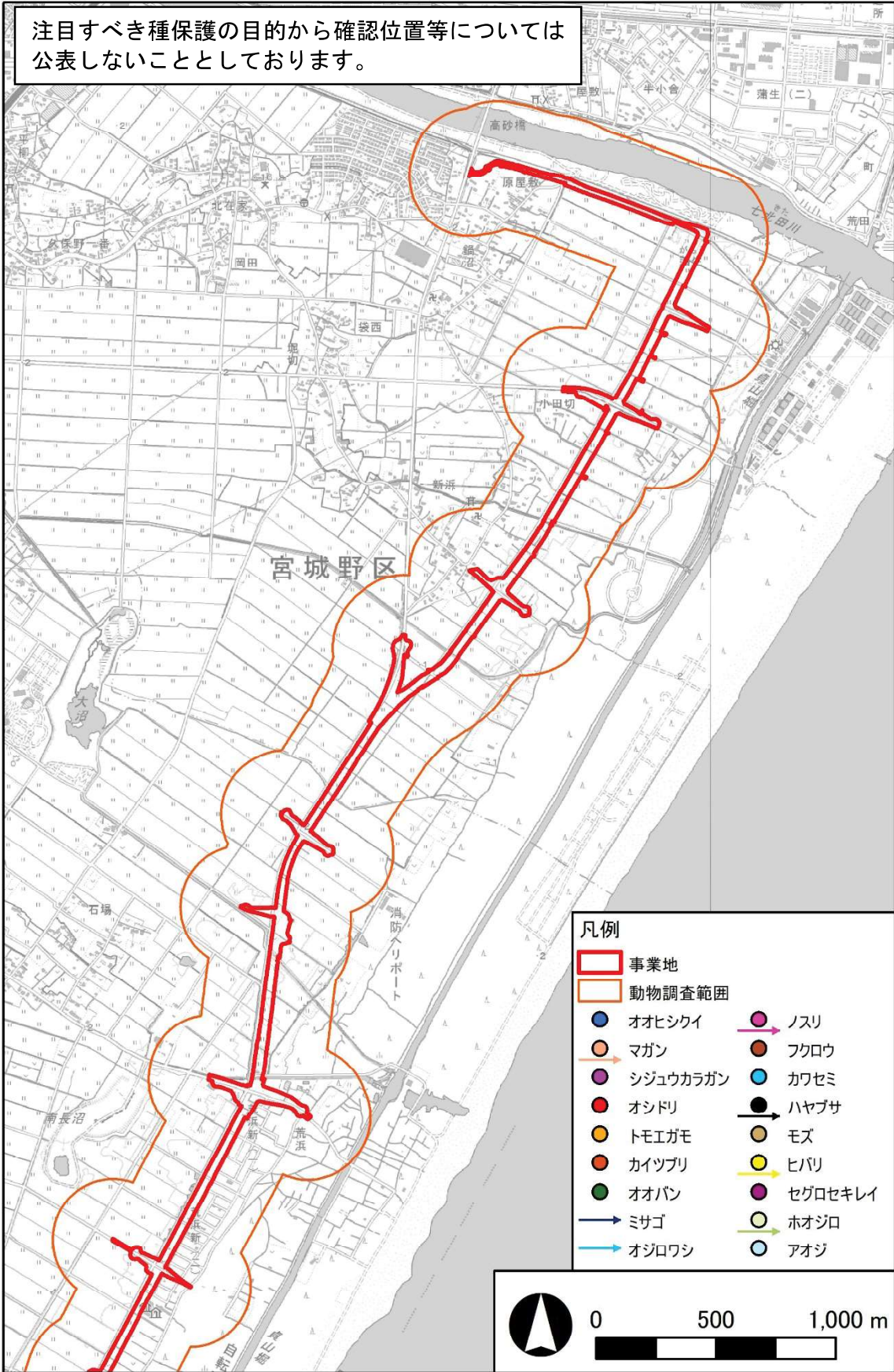
図 8.8-8 (1) 注目すべき種の確認位置：鳥類秋季（北側）

注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。



※●は静止、轉りなどの地点での確認を、→は飛翔中の確認を示す。

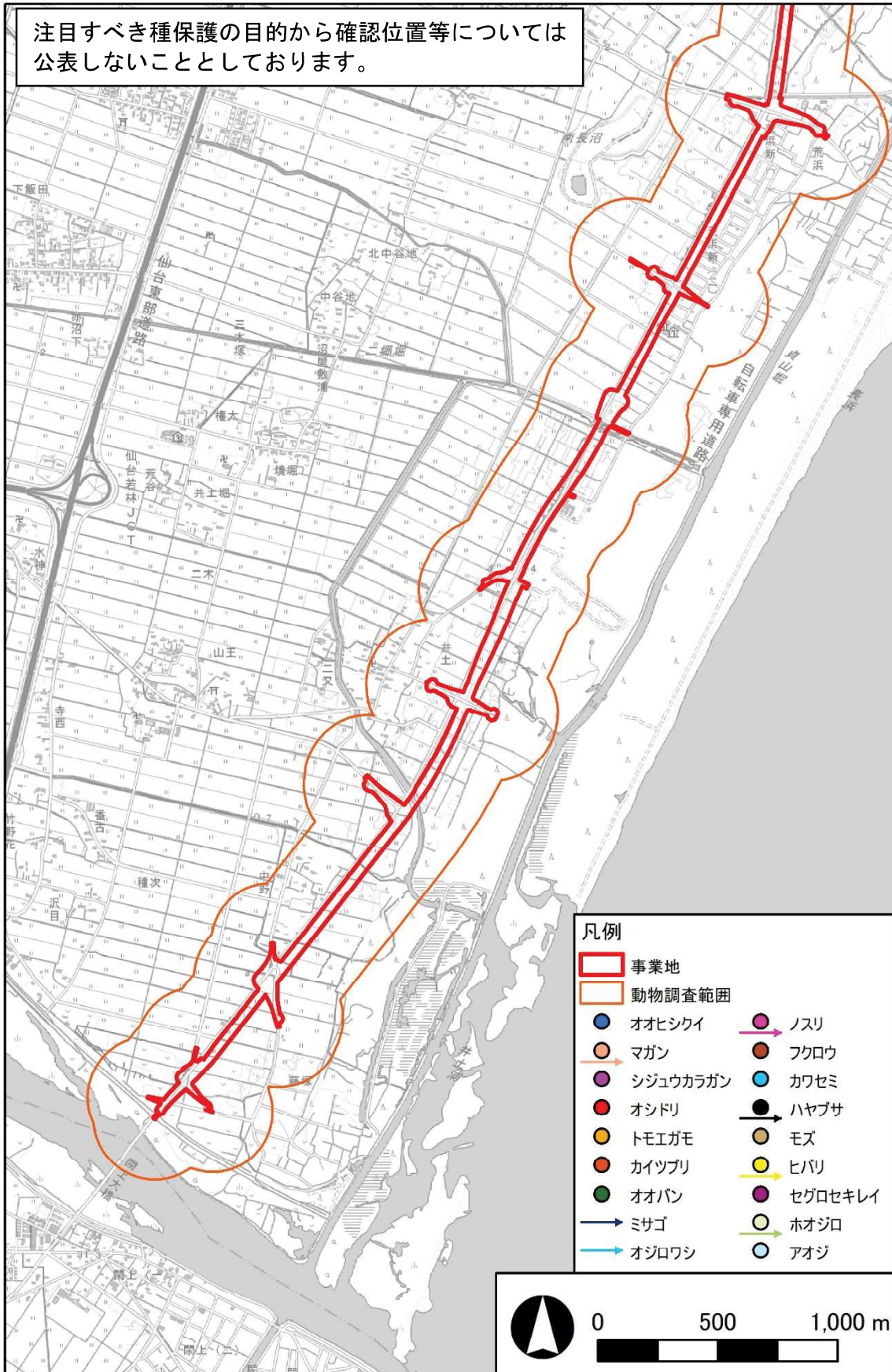
図 8.8-8 (2) 注目すべき種の確認位置：鳥類秋季（南側）



※●は静止、轉りなどの地点での確認を、→は飛翔中の確認を示す。

図 8.8-9 (1) 注目すべき種の確認位置：鳥類冬季（北側）

注目すべき種保護の目的から確認位置等については公表しないこととしております。



※●は静止、轉りなどの地点での確認を、→は飛翔中の確認を示す。

図 8.8-9 (2) 注目すべき種の確認位置：鳥類冬季（南側）

(3) 爬虫類

爬虫類相の確認状況は表 8.8-5 に、主な確認種は写真 8.8-3 に示すとおりである。また、注目すべき種の確認状況は、表 8.8-6 及び図 8.8-10 に示すとおりである。

春季、夏季及び秋季の調査では、ミシシippアカミミガメ、シマヘビ、アオダイショウの 2 科 3 種が確認された。

このうち、注目すべき種は、アオダイショウの 1 種であった。

表 8.8-5 爬虫類相の確認状況

科名	種名	評価書				工事中(H29~H30年)				供用後(R2年)			
		秋季	春季	夏季	計	秋季	春季	夏季	計	春季	夏季	秋季	計
イシガメ	クサガメ			※	※								
ヌマガメ	ミシシippアカミミガメ		○		○	○	○	○	○		○	○	○
ナミヘビ	シマヘビ		○		○	○			○	○			○
	アオダイショウ						○		○		○		○
2科	3種	0種	2種	0種	2種	2種	2種	1種	3種	1種	2種	1種	3種

※かなり風化した甲羅のみを確認。調査地域に生息していたものかどうか特定できないため、確認種には含まれていない。

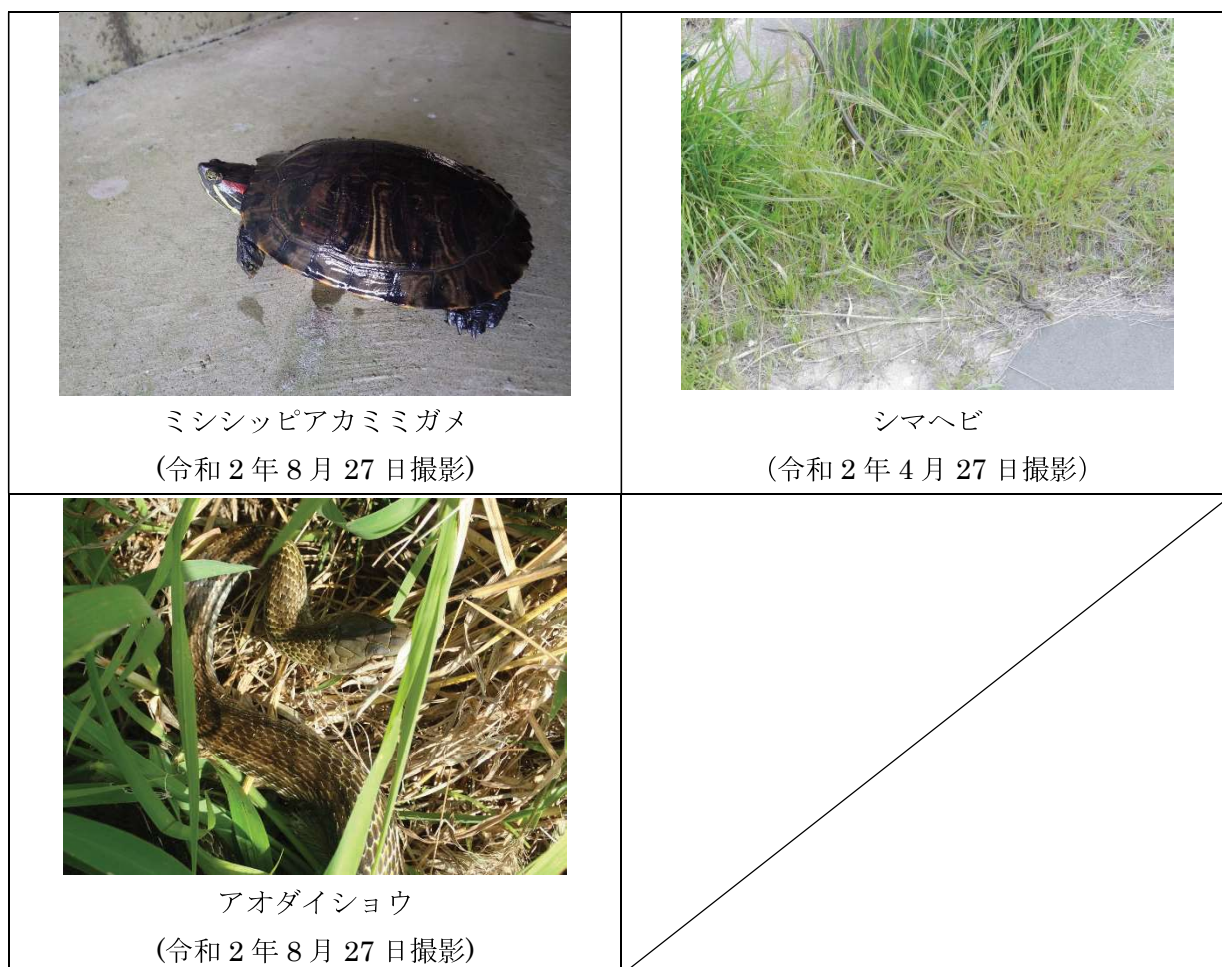


写真 8.8-3 確認種

表 8.8-6 注目すべき種の確認状況

種名	評価書	工事中 (H29～ H30)	供用後			重要種選定基準 ^{※1}						
			(R2)	春季	夏季	秋季	①	②	③	④	⑤	
アオダイショウ		○	○		○							C
1種	0種	1種	1種	0種	1種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	1種

※1：表中の番号①～⑤は表 7.9-4 の選定基準に対応している

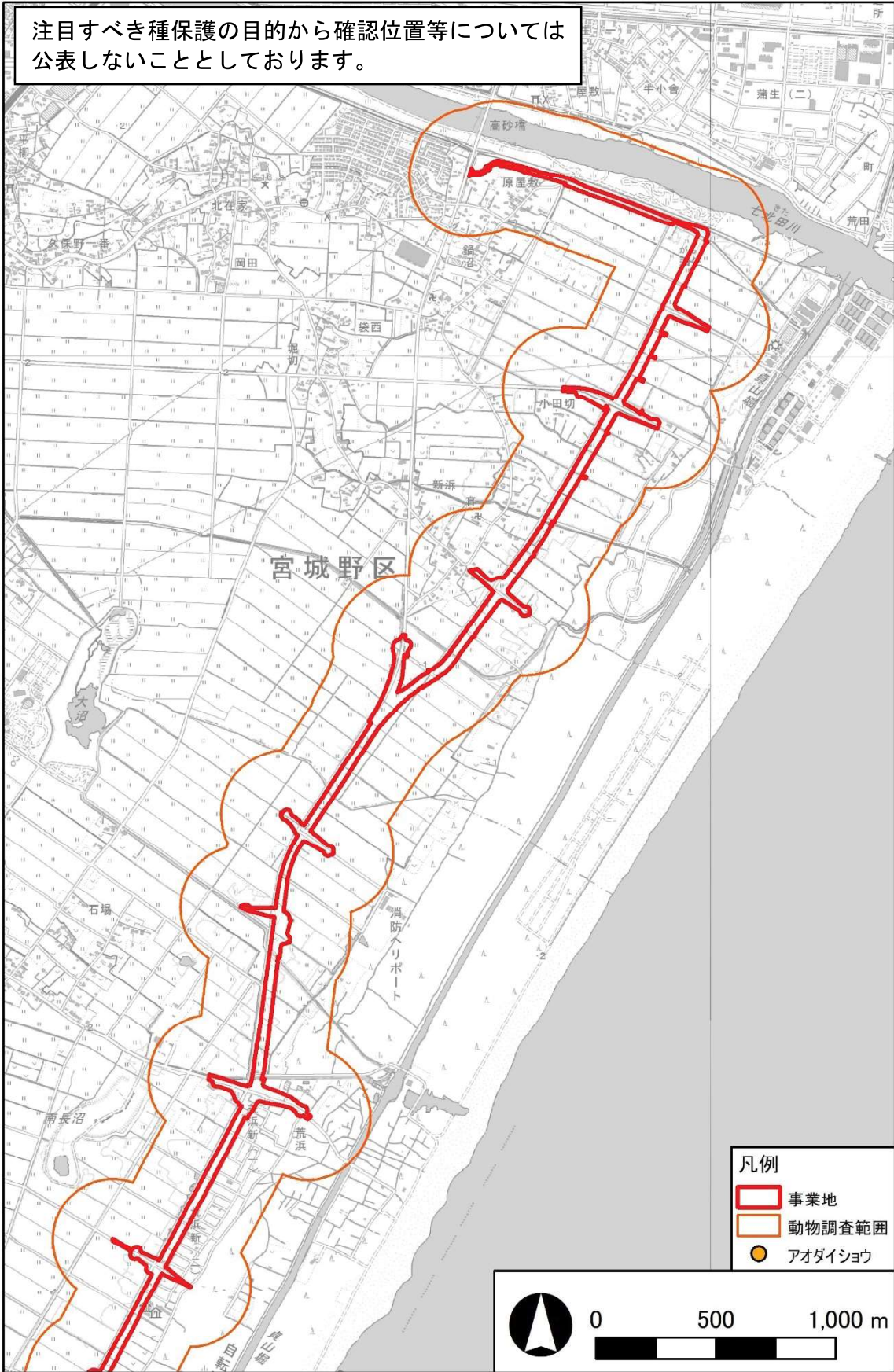


図 8.8-10 (1) 注目すべき種の確認位置：爬虫類夏季（北側）

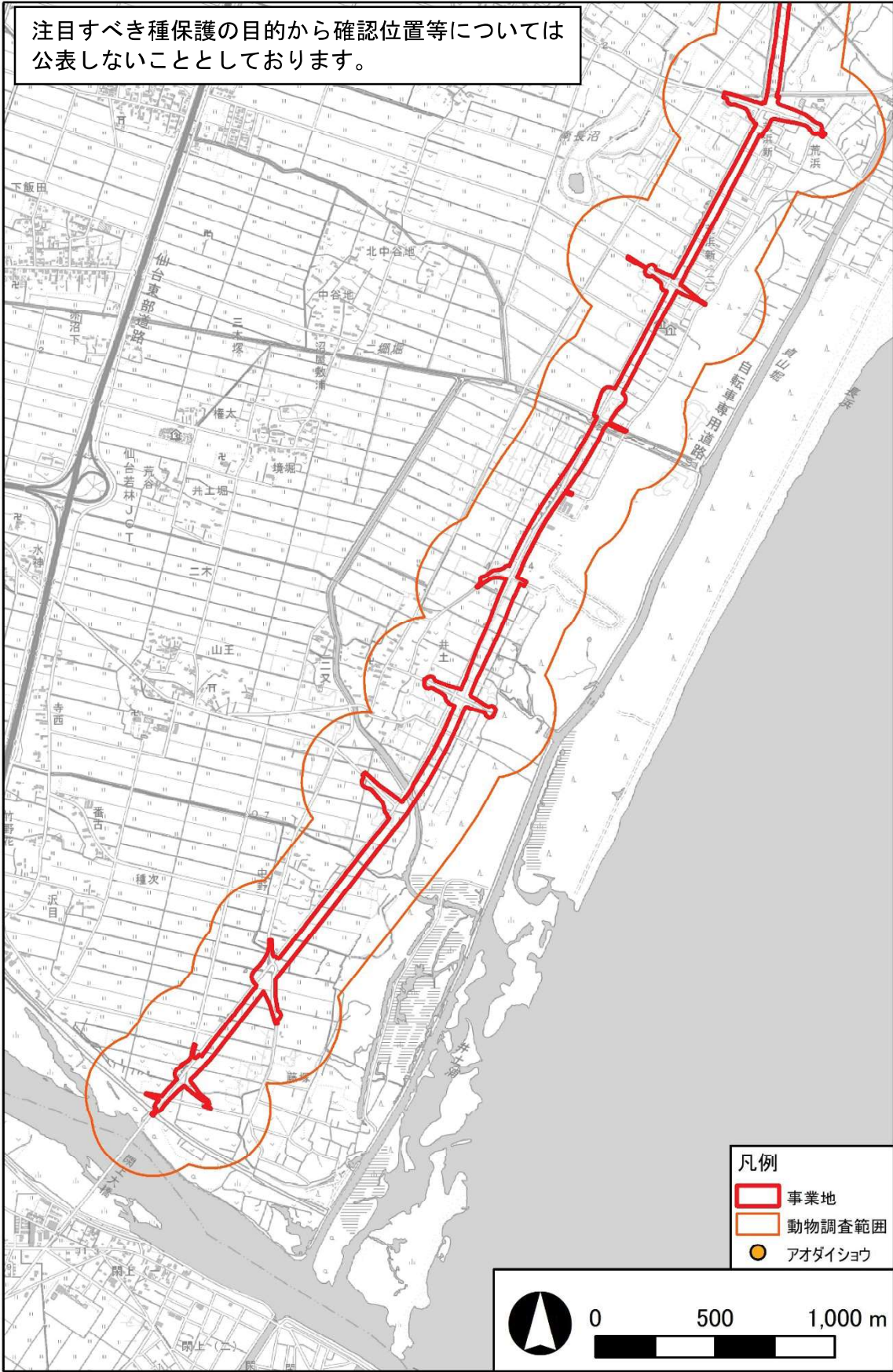


図 8.8-10 (2) 注目すべき種の確認位置：爬虫類夏季（南側）

(4) 両生類

両生類相の確認状況は表 8.8-7 に、主な確認種は写真 8.8-4 に示すとおりである。また、注目すべき種の確認状況は表 8.8-8、及び図 8.8-11～図 8.8-14 に示すとおりである。

早春季、春季、夏季及び秋季の調査では、アズマヒキガエル、ニホンアマガエル、ニホンアカガエル、シュレーゲルアオガエル等の 4 科 5 種が確認された。

このうち、注目すべき種はアズマヒキガエル、ニホンアカガエル、シュレーゲルアオガエルの 3 科 3 種であった。

表 8.8-7 両生類相の確認状況

科名	種名	評価書					工事中(H29～H30年)					供用後(R2年)				
		秋季	早春季	春季	夏季	計	秋季	早春季	春季	夏季	計	早春季	春季	夏季	秋季	計
ヒキガエル	アズマヒキガエル	※		○		○						○				○
アマガエル	ニホンアマガエル	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アカガエル	ニホンアカガエル			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	トウキョウダルマガエル					○			○		○					
	ウシガエル			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アオガエル	シュレーゲルアオガエル			○		○			○		○		○		○	
4科	6種	1種	0種	6種	2種	6種	3種	2種	5種	3種	5種	4種	4種	3種	2種	5種

※：鍛冶谷地堀で死体を確認したが、調査地域外の上流から流下してきた可能性があるため、確認種には含まなかった。



写真 8.8-4 主な確認種

表 8.8-8 注目すべき種の確認状況

種名	評価書	工事中	供用後				重要種選定基準 ^{※1}					
		(H29～ H30)	(R2)	早春季	春季	夏季	秋季	①	②	③	④	⑤
アズマヒキガエル	○		○	○								C
ニホンアカガエル	○	○	○	○	○	○	○					C
トウキョウダルマガエル	○	○								NT	NT	C
シュレーゲルアオガエル	○	○	○		○							C ^{※2}
4種	4種	3種	3種	2種	2種	1種	1種	0種	0種	1種	1種	4種

※1：表中の番号①～⑤は表 7.9-4 の選定基準に対応している

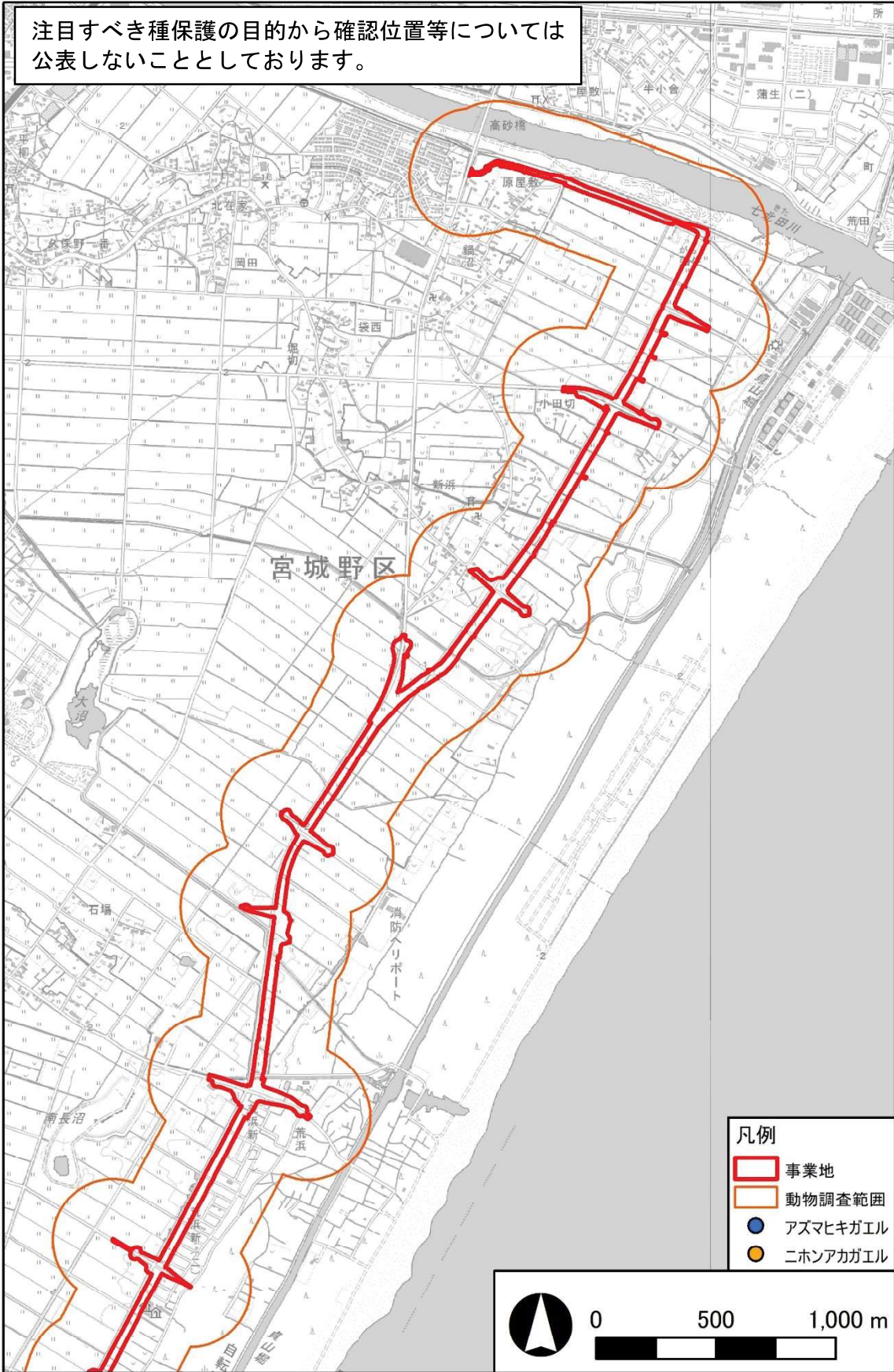


図 8.8-11 (1) 注目すべき種の確認位置：両生類早春季（北側）

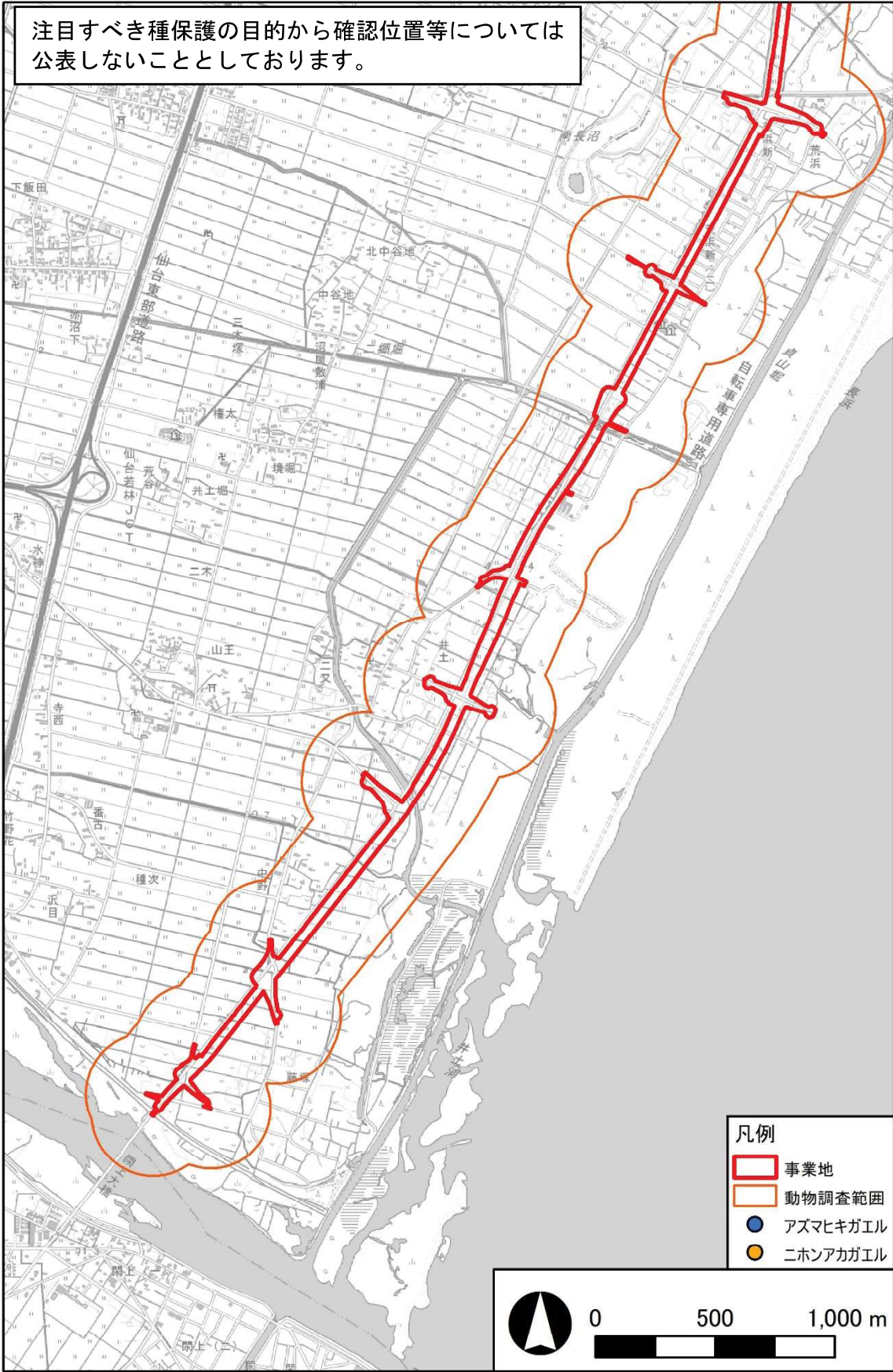


図 8.8-11 (2) 注目すべき種の確認位置：両生類早春季（南側）

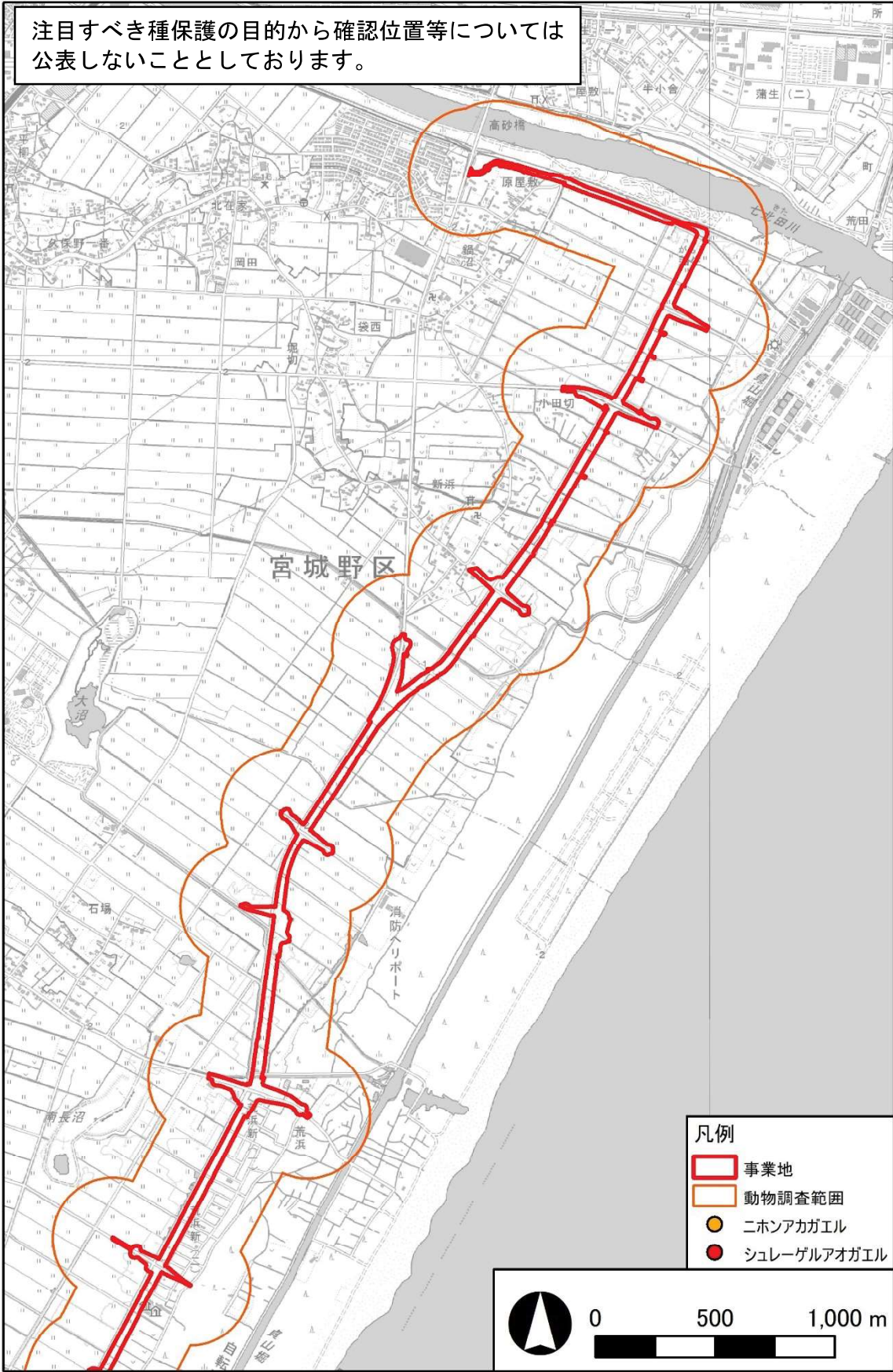


図 8.8-12 (1) 注目すべき種の確認位置：両生類春季（北側）

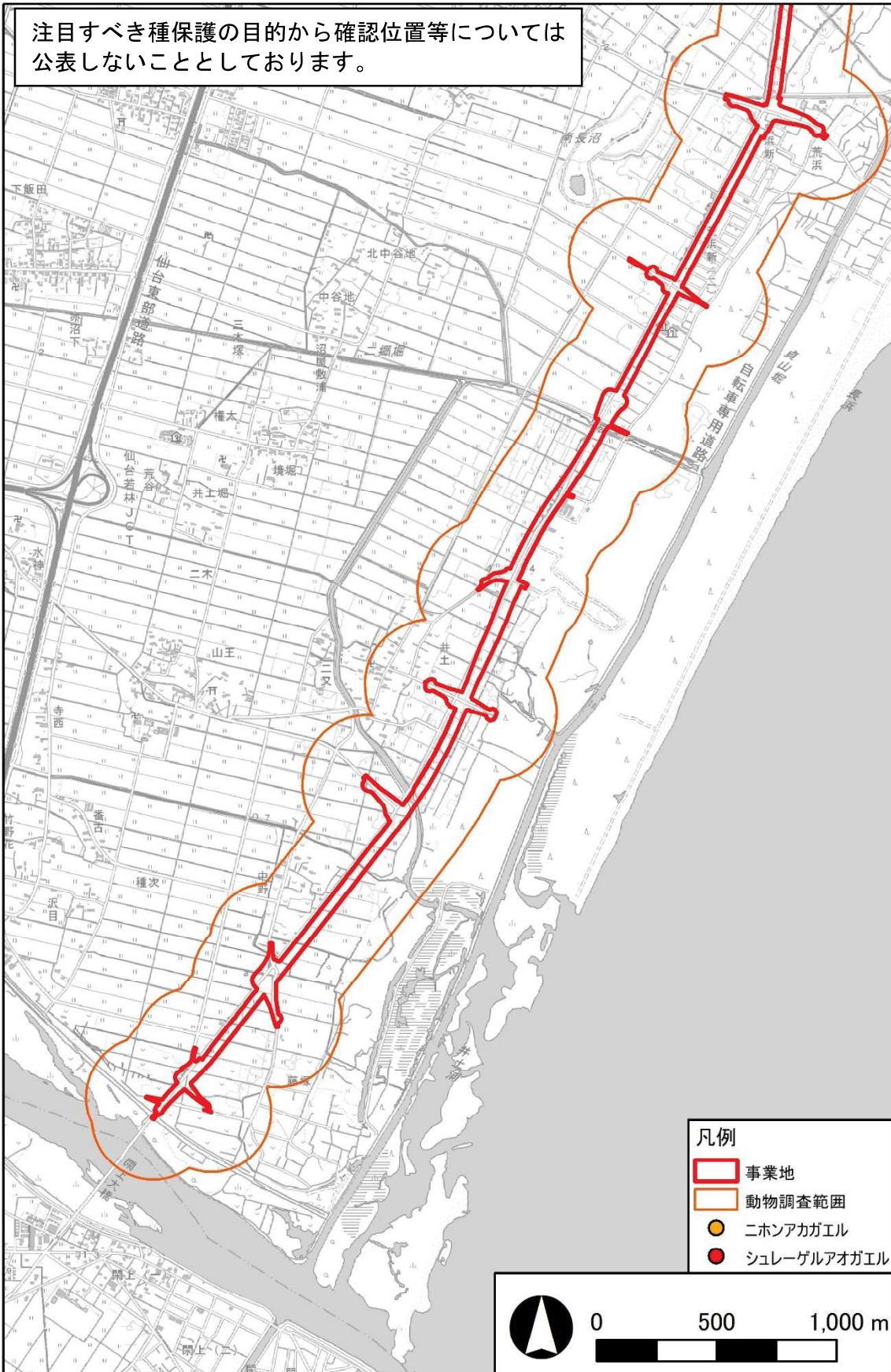


図 8.8-12 (2) 注目すべき種の確認位置：両生類春季（南側）

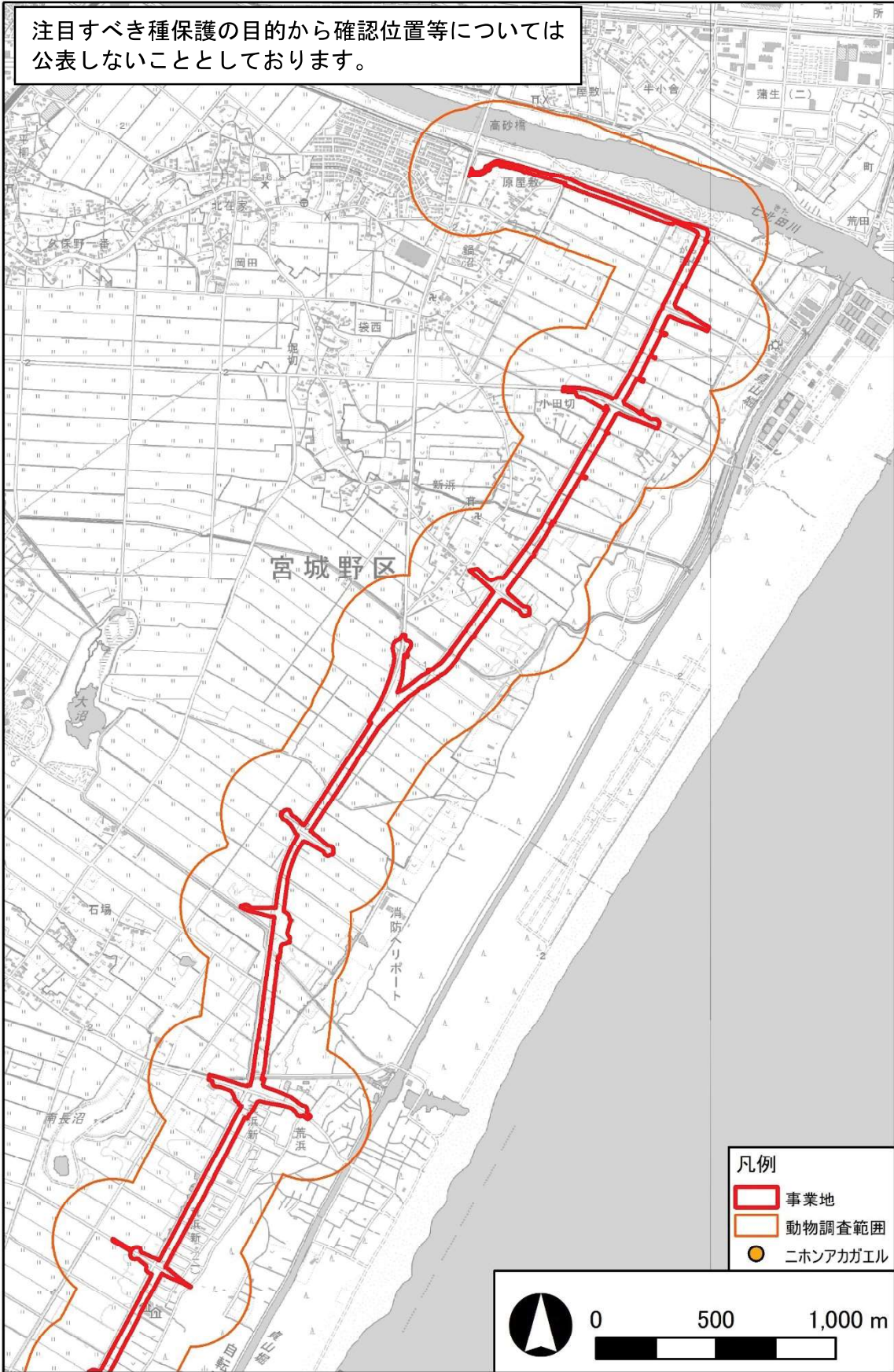


図 8.8-13 (1) 注目すべき種の確認位置：両生類夏季（北側）

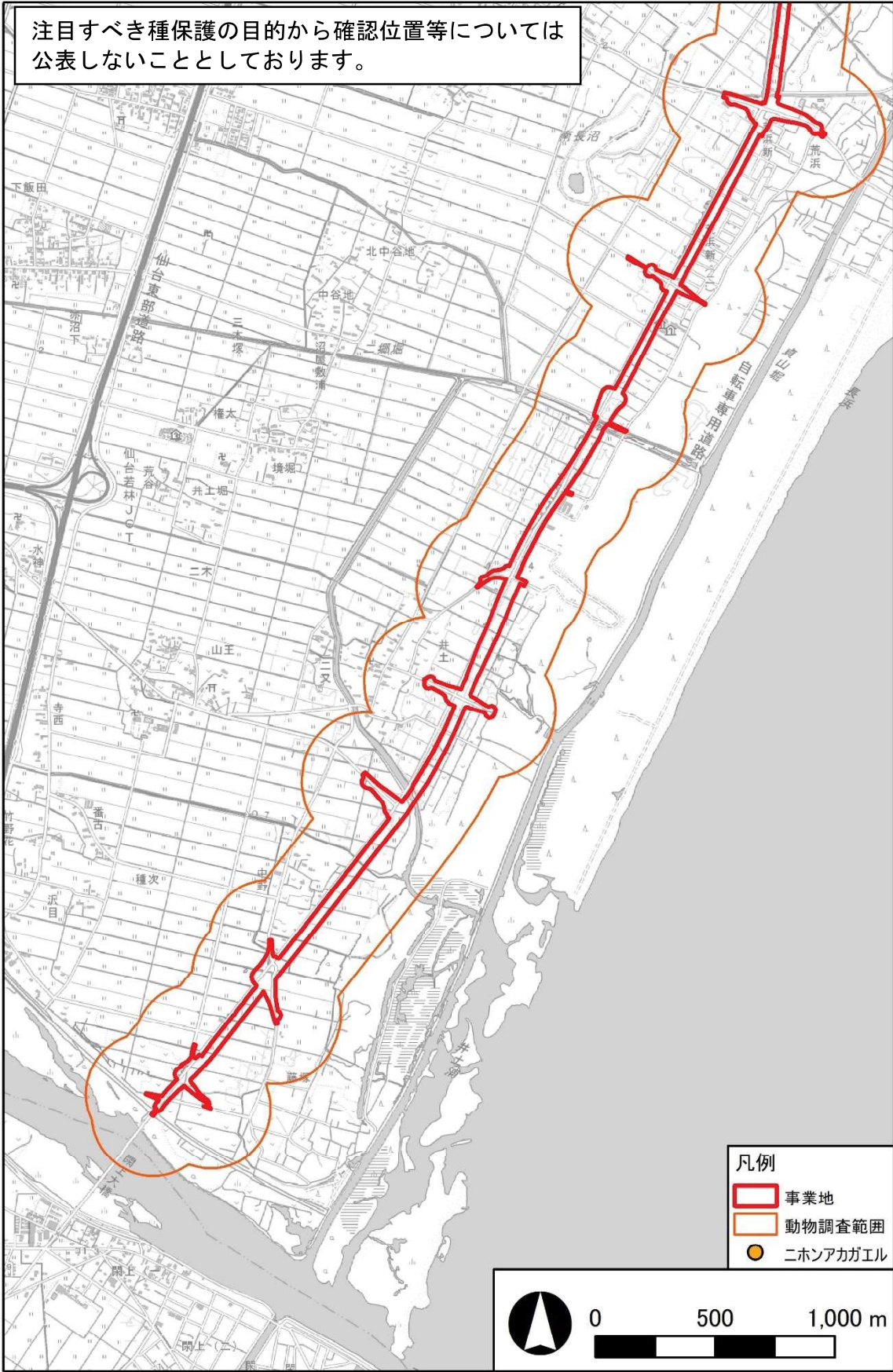


図 8.8-13 (2) 注目すべき種の確認位置：両生類夏季（南側）



図 8.8-14 (1) 注目すべき種の確認位置：両生類秋季（北側）

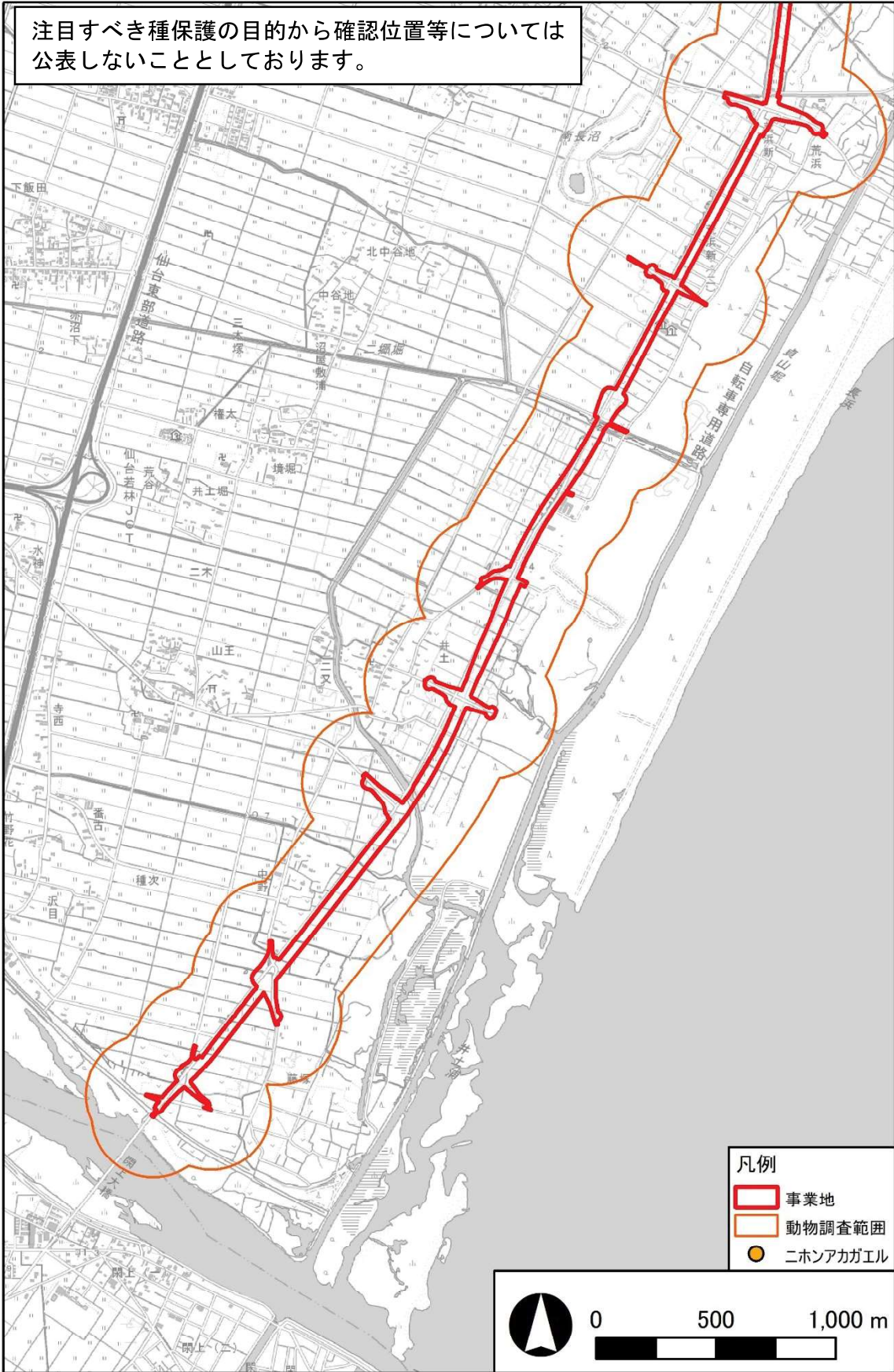


図 8.8-14 (2) 注目すべき種の確認位置：両生類秋季（南側）

(5) 魚類

魚類相の確認状況は表 8.8-9 に、主な確認種は写真 8.8-5 に示すとおりである。また、注目すべき種の確認状況は、表 8.8-10 及び図 8.8-15～図 8.8-16 に示すとおりである。

初夏及び秋季の調査では、12 科 28 種の魚類が確認された。

水路内では、コイ、アブラハヤ、ミナミメダカ等を確認した。[]では、スズキ、ボラ、マハゼ等の汽水・海水魚が確認された。

このうち、注目すべき種はニホンウナギ、ウグイ、ドジョウ、ミナミメダカの 4 種が確認された。

表 8.8-9 (1) 魚類相の確認状況

科名	種名	評価書				工事中(H29～H30)				供用後(R2)			
		秋季		春季		秋季		春季		春季		秋季	
		水路 ^{*1}	[]	水路 ^{*1}	[]	水路 ^{*1}	[]	水路 ^{*1}	[]	水路 ^{*1}	[]	水路 ^{*1}	[]
ウナギ	ニホンウナギ	○	○			○				○			○
ニシン	サッパ		○				○						○
	コノシロ	○	○				○						
コイ	コイ	○	○	○		○		○		○		○	○
	ゲンゴロウブナ					○	○	○		○		○	○
	ギンブナ	○	○	○	○	○		○		○		○	○
	オイカワ					○				○		○	○
	アブラハヤ											○	○
	マルタ						○					○	○
	ウグイ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	モツゴ	○		○		○			○	○		○	○
	タモロコ	○		○		○		○		○		○	○
	ニゴイ	○				○				○		○	○
ドジョウ	ドジョウ ^{*3}			○		○				○		○	○
	カラドジョウ							○		○			
	ドジョウ属 ^{*4}									○		○	○
ナマズ	ナマズ	○			○		○		○		○	○	
アユ	アユ	○											
シラウオ	シラウオ				○					○			
サケ	サケ			○									
メダカ	ミナミメダカ	○				○				○		○	
コチ	マゴチ						○						
スズキ	スズキ	○					○		○		○	○	
シマイサキ	コトヒキ		○										
サンフィッシュ	ブルーギル	○	○							○			
	オオクチバス	○	○										
アジ	マアジ		○										
タイ	クロダイ		○										
ニベ	シログチ												
ボラ	ボラ	○	○	○		○	○	○	○		○		○
	セスジボラ		○										
	メナダ	○											

表 8.8-9 (2) 魚類相の確認状況

科名	種名	評価書				工事中(H29~H30)				供用後(R2)			
		秋季		春季		秋季		春季		春季		秋季	
		水路 ^{※1}		水路 ^{※1}		水路 ^{※1}		水路 ^{※1}		水路 ^{※1}		水路 ^{※1}	
ハゼ	ウキゴリ	○		○		○		○					
	ピリンゴ	○	○	○	○	○		○	○		○	○	
	マハゼ	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○
	アシシロハゼ		○	○				○	○	○	○	○	○
	ヒメハゼ		○										
	旧トウヨシノボリ類					○				○		○	
	シモフリシマハゼ				○		○				○		○
	ヌマチチブ	○		○	○	○		○	○	○	○	○	
	チチブ	○							○				○
カレイ	ヌマガレイ					○		○	○				
フグ	クサフグ		○				○		○		○		
合計	35種	21種	18種	13種	8種	18種	11種	14種	10種	17種	10種	17種	10種

※1：水路は調査地点 GT1～10 地点の 10 地点の合計を示す。

※2： は調査地点 GT11～GT13 の 3 地点の合計を示す。

※3：ドジョウは、「日本のドジョウ 形態・生態・文化の図鑑. 山と溪谷社 (2017 年)」に従い、雄の成魚のみを同定対象とし、雌や幼魚はドジョウ属で整理した。

※4：ドジョウ属は、ドジョウまたはキタドジョウであり、カラドジョウは含まれない。



ニホンウナギ

([redacted] : 令和2年11月26日撮影)



ウグイ

([redacted] : 令和2年11月25日撮影)



ミナミメダカ

([redacted] : 令和2年11月25日)



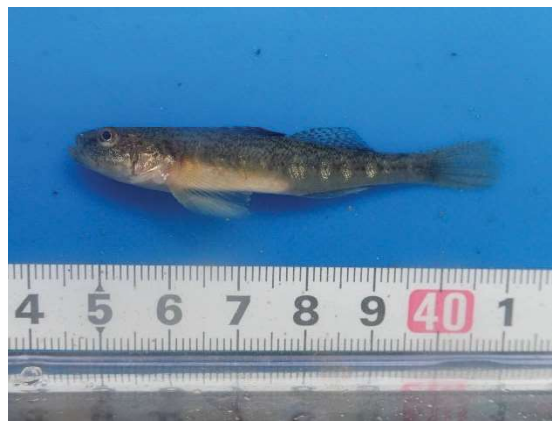
スズキ

([redacted] : 令和2年11月26日)



マハゼ

([redacted] : 令和2年11月26日)



ビリンゴ

([redacted] : 令和2年11月24日)

写真 8.8-5 主な確認種

表 8.8-10 注目すべき種の確認状況

種名	評価書	工事中 (H29～ H30)	供用後			重要種選定基準 ^{※1}				
			(R2)	春季	秋季	①	②	③	④	⑤
ニホンウナギ	○	○	○	○	○			EN	NT	1,C
ウグイ	○	○	○	○	○					C ^{※2}
ドジョウ ^{※3}	○	○	○	○	○			NT		
ドジョウ属 ^{※4}			○	○	○			NT/DD ^{※4}		
アユ	○									C
ミナミメダカ	○	○	○	○	○			VU	NT	1,C
5種	5種	4種	4種	4種	4種	0種	0種	4種	2種	4種

※1：表中の番号①～⑤は表 7.9-4 の選定基準に対応している

※2：「平成 22 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務報告書」において保全上重要な動植物種に指定されていたが、「平成 28 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」では除外された種。

※3：ドジョウは、「日本のドジョウ 形態・生態・文化の図鑑. 山と溪谷社 (2017 年)」に従い、雄の成魚のみを同定対象とし、雌や幼魚はドジョウ属で整理した。

※4：ドジョウ属は、ドジョウまたはキタドジョウであり、カラドジョウは含まれない。ドジョウ：NT、キタドジョウ：DD

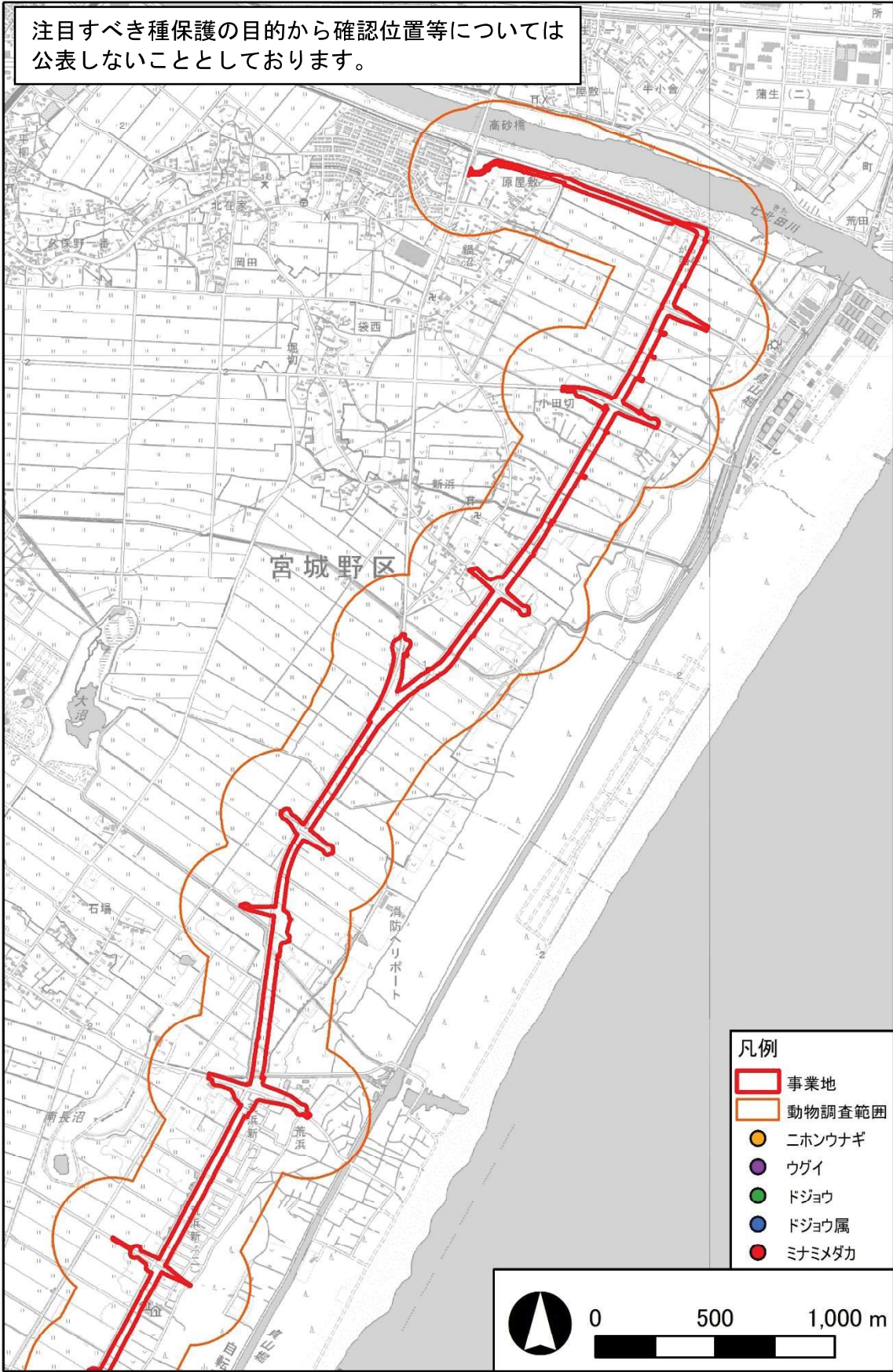


図 8.8-15 (1) 注目すべき種の確認位置：魚類春季（北側）

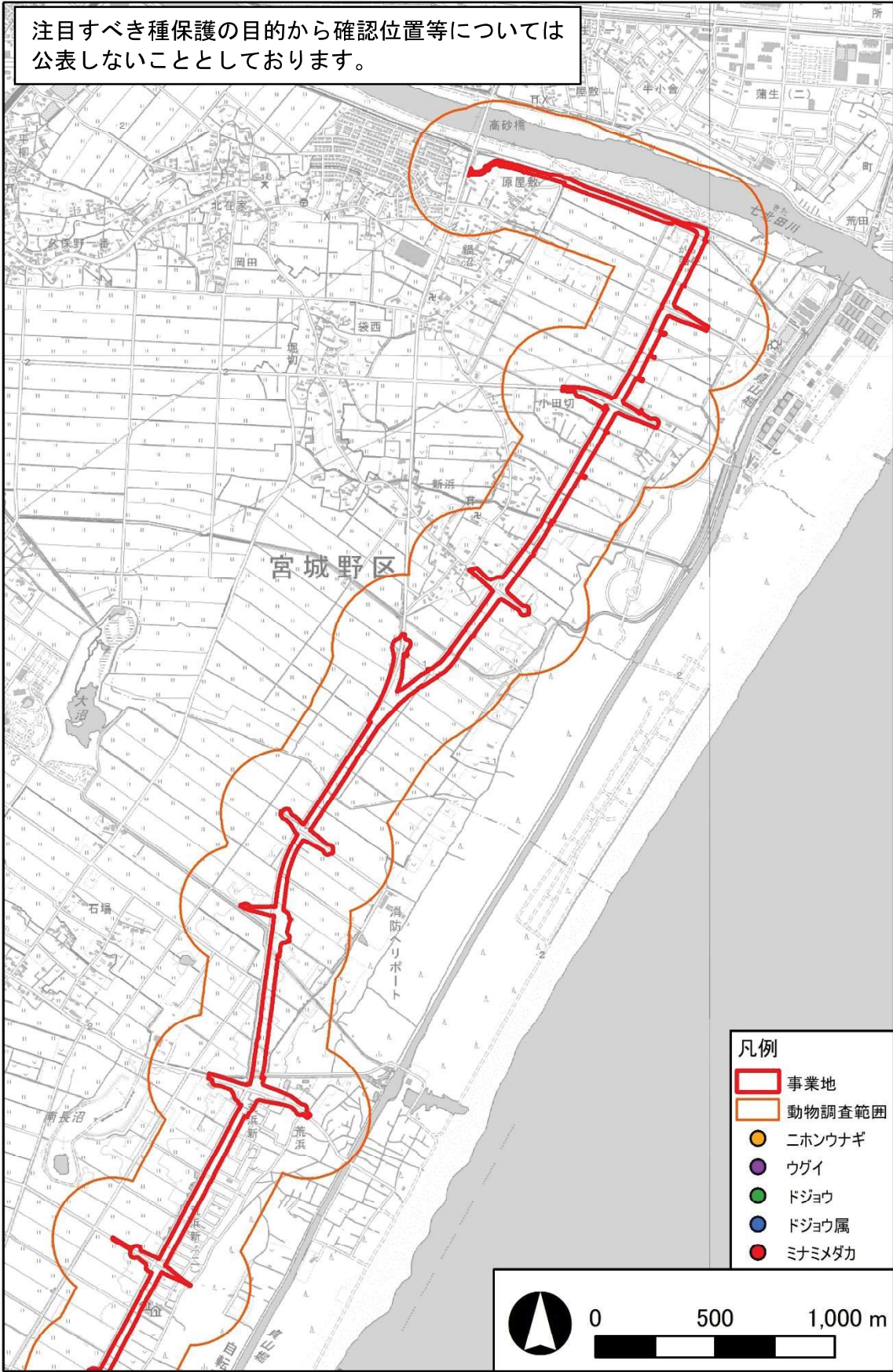


図 8.8-16 (1) 注目すべき種の確認位置：魚類秋季（北側）

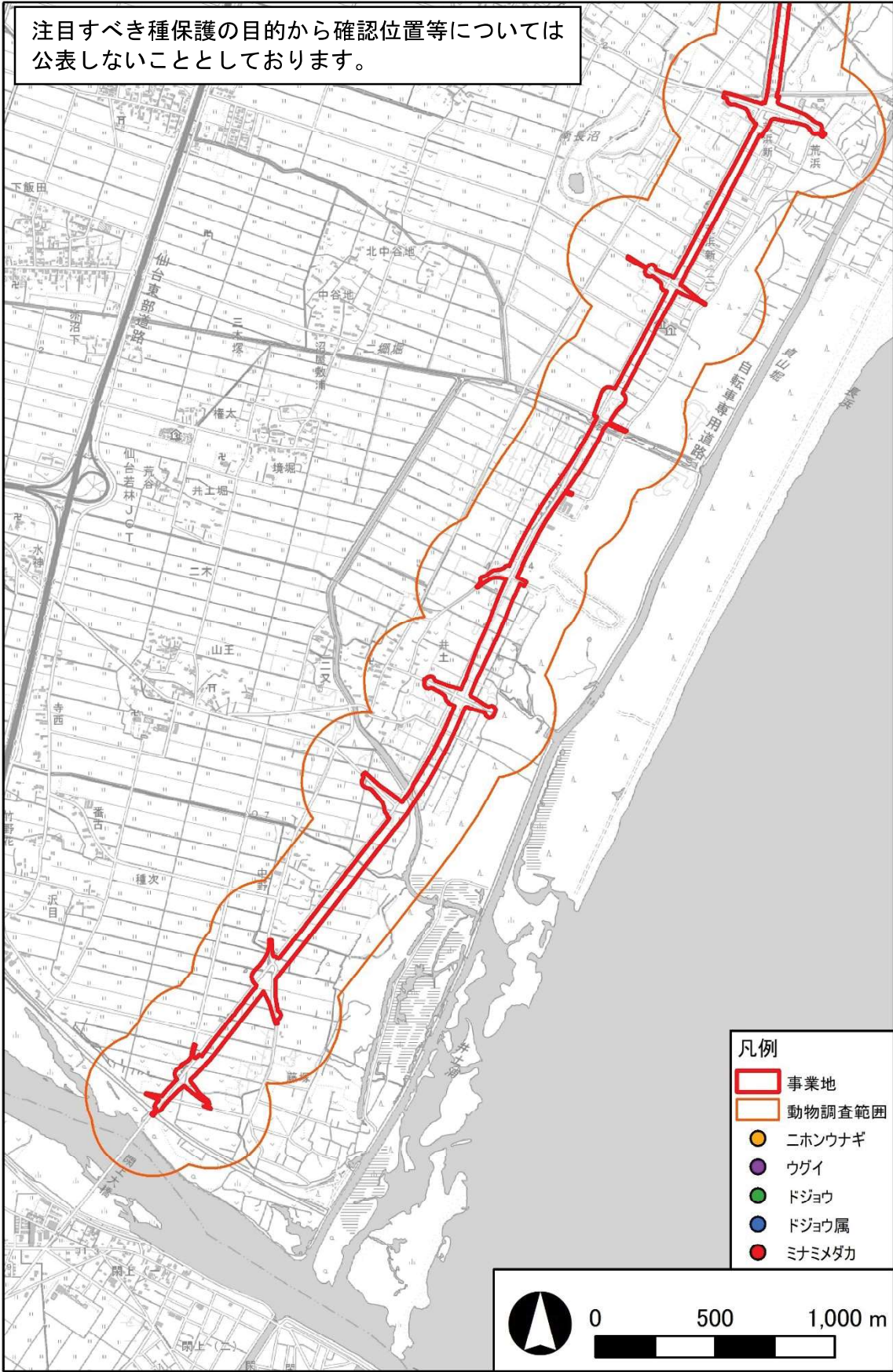


図 8.8-16 (2) 注目すべき種の確認位置：魚類秋季（南側）

(6) 昆虫類

昆虫類相の確認状況は表 8.8-11 (1)～(5)に、主な確認種は写真 8.8-6 に示すとおりである。また、注目すべき種の確認状況は、表 8.8-12 及び図 8.8-17～図 8.8-18 に示すとおりである。

春季、夏季及び秋季調査では、10 目 137 科 513 種の昆虫類が確認された。

目別では、コウチュウ目が 206 種と最も多く、次いでチョウ目 82 種、カメムシ目 77 種、ハチ目 54 種の順であった。

このうち、注目すべき種は、アキアカネ、キバナガミズギワゴミムシ、マルガタゲンゴロウ、ニッポンハナダカバチ等 10 種が確認された。

表 8.8-11 (1) 昆虫類相の確認状況

No.	目名	科名	評価書				工事中 (H29～H30)				供用後 (R2)			
			秋季	春季	夏季	合計	秋季	春季	夏季	合計	春季	夏季	秋季	合計
1	カゲロウ目	マダラカゲロウ科	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
2	トンボ目	アオイトトンボ科	0	1	1	2	1	1	0	1	2	0	1	2
3		イトトンボ科	1	0	3	3	1	0	1	1	0	1	1	1
4		カワトンボ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
5		ヤンマ科	2	0	1	2	1	0	1	1	0	1	1	1
6		トンボ科	4	2	7	8	6	0	9	10	0	7	6	9
7		コキアフリ目	コキアフリ科	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0
8	シロアリ目	ミゾカシテシロアリ科	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
9	カマキリ目	カマキリ科	1	0	1	1	1	0	0	1	0	0	2	2
10	ハサミムシ目	マルムネハサミムシ科	1	0	0	1	2	2	1	2	1	2	2	2
11		クロハサミムシ科	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
12		クキヌキハサミムシ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
13		オオハサミムシ科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
14	カワゲラ目	カワゲラ科	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
15	ハゲタ目	カマトクマ科	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
16		ツユムシ科	0	0	2	2	1	0	2	2	0	1	2	2
17		キリギリス科	2	0	4	4	5	0	1	5	1	4	7	9
18		ケラ科	0	1	1	1	1	0	1	1	0	1	1	1
19		マツムシ科	1	0	1	1	1	0	1	1	0	1	1	1
20		コオロギ科	4	0	3	4	3	0	0	3	0	3	3	3
21		カネタケ科	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
22		ヒバリモンキ科	2	0	3	3	2	0	0	2	0	3	3	3
23		ハゲタ科	4	0	4	4	5	0	4	5	0	4	5	5
24		イナコ科	1	0	1	1	1	0	0	1	0	2	1	2
25		オンブハゲタ科	1	0	1	1	1	0	1	1	0	1	1	1
26		ヒシハゲタ科	1	2	2	2	3	1	2	3	2	2	2	3
27		ノミハゲタ科	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1
28	アザミウマ目	クダアザミウマ科	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
29	カメムシ目	ウンカ科	1	3	3	6	1	1	3	4	0	2	0	2
30		ハネナカウンカ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

表 8.8-11 (2) 昆虫類相の確認状況

No.	目名	科名	評価書				工事中 (H29~H30)				供用後 (R2)			
			秋季	春季	夏季	合計	秋季	春季	夏季	合計	春季	夏季	秋季	合計
31	カメシ目	アホハコロモ科	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	1
32		ハコロモ科	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1
33		セミ科	0	0	3	3	0	0	1	1	0	3	0	3
34		ツノゼミ科	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
35		アワフキムシ科	1	0	0	1	0	0	1	1	0	1	1	1
36		コカシラアワフキムシ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
37		ヨコハシ科	2	0	5	6	6	0	2	6	3	3	1	6
38		キシラミ科	0	2	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1
39		サシカメ科	2	2	0	2	1	3	0	3	1	2	4	4
40		カソハシムシ科	2	0	0	2	3	0	1	3	0	1	2	2
41		ハナカメシ科	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
42		カシカメシ科	7	1	5	9	10	1	4	10	3	5	6	8
43		マキハシカメシ科	1	1	1	1	1	0	0	1	0	2	1	2
44		ホシカメシ科	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	2
45		ホソハラカメシ科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	2
46		ヘリカメシ科	1	0	2	2	4	1	0	4	3	3	3	5
47		ヒメハラカメシ科	2	0	0	2	3	2	1	3	2	2	1	3
48		ナカカメシ科	5	6	5	10	4	7	2	8	4	7	7	12
49		ツノカメシ科	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	2
50		ツチカメシ科	0	2	1	2	1	2	1	2	2	2	0	3
51		ノコギリカメシ科	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
52		カメシ科	2	3	4	5	4	2	2	5	5	5	6	9
53		マルカメシ科	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
54		アメンホシ科	1	2	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2
55		カタビロアメンホシ科	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1
56		ミスギワカメシ科	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
57		ミスムシ科	2	2	3	3	1	0	1	2	0	1	1	2
58		タイウチ科	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
59		マツモシ科	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1
60	アミメカゲロウ目	クサカゲロウ科	1	1	0	1	2	1	1	3	2	0	0	2
61	トビケラ目	シマトビケラ科	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
62		ヒゲナガカワトビケラ科	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
63		ヤマトビケラ科	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
64		ニンキョウトビケラ科	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
65	チョウ目	ツツミカ科	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0
66		カサリハカ科	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
67		キハカ科	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0
68		マルハキハカ科	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1
69		ニセマイコカ科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
70		ミツホシキハカ科	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
71		スカ科	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
72		コナカ科	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0
73		ハマキカ科	0	0	2	2	4	0	4	8	2	8	0	10
74		イラカ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
75		セセリチョウ科	1	0	1	1	1	1	0	2	0	1	2	2

表 8.8-11 (3) 昆虫類相の確認状況

No.	目名	科名	評価書				工事中 (H29~H30)				供用後 (R2)				
			秋季	春季	夏季	合計	秋季	春季	夏季	合計	春季	夏季	秋季	合計	
76	チョウ目	シジミチョウ科	2	4	3	4	4	2	3	4	3	2	5	5	
77		タテチョウ科	3	2	1	4	2	0	1	2	2	0	0	2	
78		アゲハチョウ科	0	0	2	2	0	1	3	3	1	1	0	1	
79		シロチョウ科	3	2	3	3	3	4	3	4	3	3	3	4	
80		トリハカ科	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	
81		ツガ科	3	2	5	7	7	0	5	10	2	7	3	9	
82		メイカ科	0	1	1	2	1	0	1	2	0	3	0	3	
83		マトカ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
84		シヤカ科	1	0	2	3	2	0	3	5	2	2	1	3	
85		オビカ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
86		カレハカ科	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	2	
87		ススカ科	0	0	1	1	1	0	0	1	0	1	0	1	
88		シヤチホコカ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	
89		ヒトリカ科	0	0	1	1	1	0	1	2	0	2	0	2	
90		トクカ科	0	0	0	0	1	0	1	2	0	2	0	2	
91		ヤカ科	4	1	7	12	8	3	11	19	6	19	5	26	
92		コバカ科	0	0	0	0	1	0	1	1	1	2	0	2	
93		ハエ目	ヒメカガシホ科	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
94			カガシホ科	0	0	0	0	1	3	0	4	2	0	0	2
95			ヌカ科	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
96	ユスリカ科		0	1	0	1	2	0	1	2	1	0	0	1	
97	ケバエ科		0	2	0	2	1	1	0	2	2	0	0	2	
98	タマハエ科		0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	
99	クロハネキノコハエ科		0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	
100	ミスアブ科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	
101	アブ科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
102	シキアブ科		0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	
103	ムシヒキアブ科		0	0	0	0	1	0	1	2	0	2	0	2	
104	アシカガハエ科		0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	
105	ハナアブ科		5	9	4	13	10	7	3	17	9	3	10	17	
106	ノミハエ科		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
107	ニセミキノコハエ科		0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	
108	ハマハエ科		0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	
109	ショウジョウハエ科		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
110	ミキノコハエ科		1	0	0	1	2	0	0	2	0	0	1	1	
111	シマハエ科		1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
112	ヒロクチハエ科		0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	
113	ヤチハエ科		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
114	ツヤホソハエ科		0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	
115	ミハエ科		0	0	1	1	1	1	0	2	1	0	0	1	
116	クロハエ科		1	0	1	1	4	2	1	6	1	1	1	2	
117	イエハエ科		0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	
118	ワラジムシヤドリハエ科		0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	
119	ニクハエ科		0	0	0	0	1	0	4	4	0	0	1	1	
120	フンハエ科		0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	

表 8.8-11 (4) 昆虫類相の確認状況

No.	目名	科名	評価書				工事中 (H29~H30)				供用後 (R2)			
			秋季	春季	夏季	合計	秋季	春季	夏季	合計	春季	夏季	秋季	合計
121	ハエ目	ヤト`リハ`エ科	0	0	0	0	3	0	1	3	1	0	0	1
122	コウチュウ目	ホソケビ`コ`ムシ科	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
123		オサムシ科	15	17	33	43	31	24	23	47	16	33	22	47
124		ハンミョウ科	0	1	2	2	0	0	2	2	0	0	0	0
125		ゲソ`ロウ科	2	2	4	4	3	2	4	5	1	5	5	7
126		コカ`シラミス`ムシ科	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
127		カ`ムシ科	2	2	9	9	6	3	5	6	0	6	4	6
128		シテ`ムシ科	0	0	0	0	1	1	1	2	0	1	0	1
129		ハネカクシ科	2	4	13	15	7	2	9	12	2	14	2	16
130		マルハナミダ`マシ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
131		マルハナミシ科	0	1	2	2	1	0	1	1	0	2	1	2
132		クワカ`タムシ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
133		コカ`ネシ科	0	2	5	7	2	3	10	14	5	13	0	18
134		マルトケ`ムシ科	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
135		ナカ`ト`ロムシ科	0	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0
136		タムシ科	0	3	0	3	0	1	0	1	2	0	2	4
137		コムツキムシ科	0	4	0	4	1	6	6	10	3	8	3	8
138		ジ`ョウカイホ`ン科	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
139		ヘ`コボ`タル科	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0
140		カコウムシ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
141		ジ`ョウカイモト`キ科	0	1	1	2	0	1	1	2	2	2	0	4
142		ムクゲ`キスイムシ科	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
143		ツツキノムシ科	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
144		テントウムシ科	4	6	3	9	6	3	4	8	5	6	5	10
145		キスイムシ科	0	0	2	2	0	0	1	1	0	3	0	3
146		テントウムシダ`マシ科	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1
147		オオキノムシ科	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0
148		コムツキモト`キ科	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
149	ヒメキムシ科	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	
150	ネスイムシ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
151	ケシキイ科	0	3	1	4	2	1	0	2	1	2	0	2	
152	ヒメナムシ科	1	0	0	1	0	0	1	1	1	2	0	3	
153	ホソヒラタムシ科	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
154	アリモト`キ科	2	0	1	3	0	0	0	0	2	3	2	3	
155	クビ`ナカ`ムシ科	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
156	ホソカタムシ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
157	ツチハンミョウ科	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
158	ハナムミ科	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	
159	カミキリモト`キ科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
160	チビ`キカラムシ科	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
161	ハナムミダ`マシ科	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	
162	コ`ムシダ`マシ科	0	0	1	1	0	1	7	7	0	6	2	7	
163	カミキリムシ科	0	1	0	1	0	0	1	1	0	6	1	7	
164	ハムシ科	7	9	9	16	7	8	6	14	20	10	5	26	
165	ヒゲ`ナカ`ゾ`ウムシ科	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	

表 8.8-11 (5) 昆虫類相の確認状況

No.	目名	科名	評価書				工事中 (H29~H30)				供用後 (R2)				
			秋季	春季	夏季	合計	秋季	春季	夏季	合計	春季	夏季	秋季	合計	
166	コリチュウ目	ホソクサヅクムシ科	0	2	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1	
167		オトシヅクムシ科	0	2	0	2	0	0	0	0	2	1	0	2	
168		ゾクムシ科	2	5	4	10	3	8	0	10	10	7	3	15	
169		オサヅクムシ科	0	0	1	1	1	0	1	1	0	1	0	1	
170		キクイムシ科	0	2	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
171	ハチ目	ミツハチ科	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	
172		ハチ科	2	5	1	6	1	2	0	3	2	0	1	2	
173		コマユハチ科	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	1	
174		ヒメハチ科	1	0	0	1	2	1	1	2	1	1	1	1	
175		アシブトコバチ科	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	1	
176		セイボウ科	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	
177		アリ科	9	10	9	16	9	5	3	11	5	9	10	16	
178		トコバチ科	0	0	1	1	5	0	3	7	0	0	0	0	
179		スズメバチ科	2	2	0	3	5	1	3	6	4	6	9	13	
180		クモバチ科	0	0	1	1	2	0	0	2	0	0	0	0	
181		アリハチ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
182		コツチハチ科	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	1	1	
183		ツチハチ科	0	0	1	1	0	0	2	2	0	3	0	3	
184		キククチハチ科	0	0	1	1	1	0	1	2	0	0	0	0	
185		トコバチモトキ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
186		アリマキハチ科	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	
187		フシガキハチ科	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	
188		アナハチ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	3	
189		ヒメナハチ科	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
190		ミツハチ科	0	1	0	1	1	2	2	4	2	2	3	5	
191		ムカシナハチ科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
192		コハナハチ科	1	2	0	2	2	0	1	2	1	1	1	2	
193		ハキリハチ科	0	0	1	1	1	0	0	1	0	1	1	2	
		16目	193科	141種	160種	228種	375種	275種	144種	215種	456種	181種	323種	209種	513種



アキアカネ
(令和2年10月7日撮影)



マイコアカネ
(令和2年10月9日撮影)



マルガタゲンゴロウ
(令和2年10月12日確認)



コガムシ
(令和2年8月17日確認)



ニッポンハナダカバチ
(令和2年8月17日確認)



クロマルハナバチ
(令和2年10月12日確認)

写真 8.8-6 主な確認種

表 8.8-12 注目すべき種の確認状況

科名	種名	評価書	工事中 (H29～ H30)	供用後			重要種選定基準※1						
				(R2)	春季	夏季	秋季	①	②	③	④	⑤	
ヤンマ	マダラヤンマ	○								NT	NT	C	
トンボ	ナツアカネ	○	○	○				○				C	
	マユタテアカネ	○	○									C	
	アキアカネ	○	○	○				○				C	
	ノシメトンボ	○	○	○			○	○				C	
	マイコアカネ		○	○				○	○			C	
カマキリ	オオカマキリ	○									C※2		
ヤガ	トガリアツバ		○								NT		
オサムシ	キバナガミズギワゴミムシ	○	○	○			○					VU	
	ハマベミズギワゴミムシ	○	○									VU	
	エチゴトックリゴミムシ	○								NT	NT		
ハンミョウ	カワラハンミョウ		○							EN	CR+EN	1, C	
ゲンゴロウ	マルガタゲンゴロウ			○							VU		
ガムシ	コガムシ	○	○	○			○	○			DD		
コガネムシ	ヤマトケシマグソコガネ		○									NT	
クモバチ	アカゴシクモバチ		○									NT	
ツチバチ	オオモンツチバチ			○				○				NT	
ドロバチモドキ	ニッポンハナダカバチ			○				○			VU	CR+EN	B
アリマキバチ	キアシマエダテバチ		○									DD	
ミツバチ	クロマルハナバチ			○								NT	
10科	16種	10種	13種	10種	0種	6種	7種	0種	0種	6種	10種	8種	

※1：表中の番号①～⑤は表 7.9-4 の選定基準に対応している

※2：「平成 22 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務報告書」において保全上重要な動植物種に指定されていたが、「平成 28 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」では除外された種。

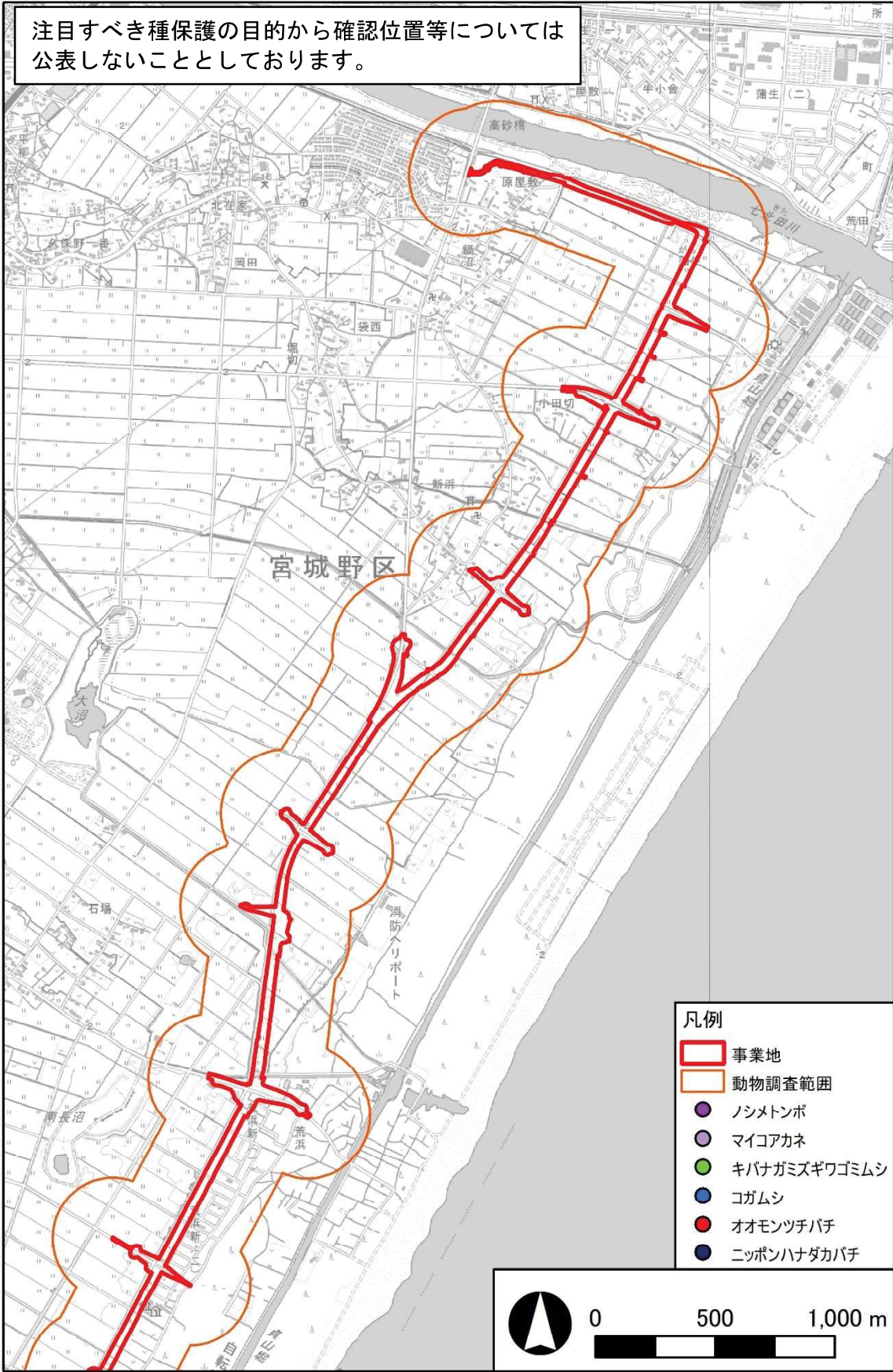


図 8.8-17 (1) 注目すべき種の確認位置：昆虫類夏季（北側）

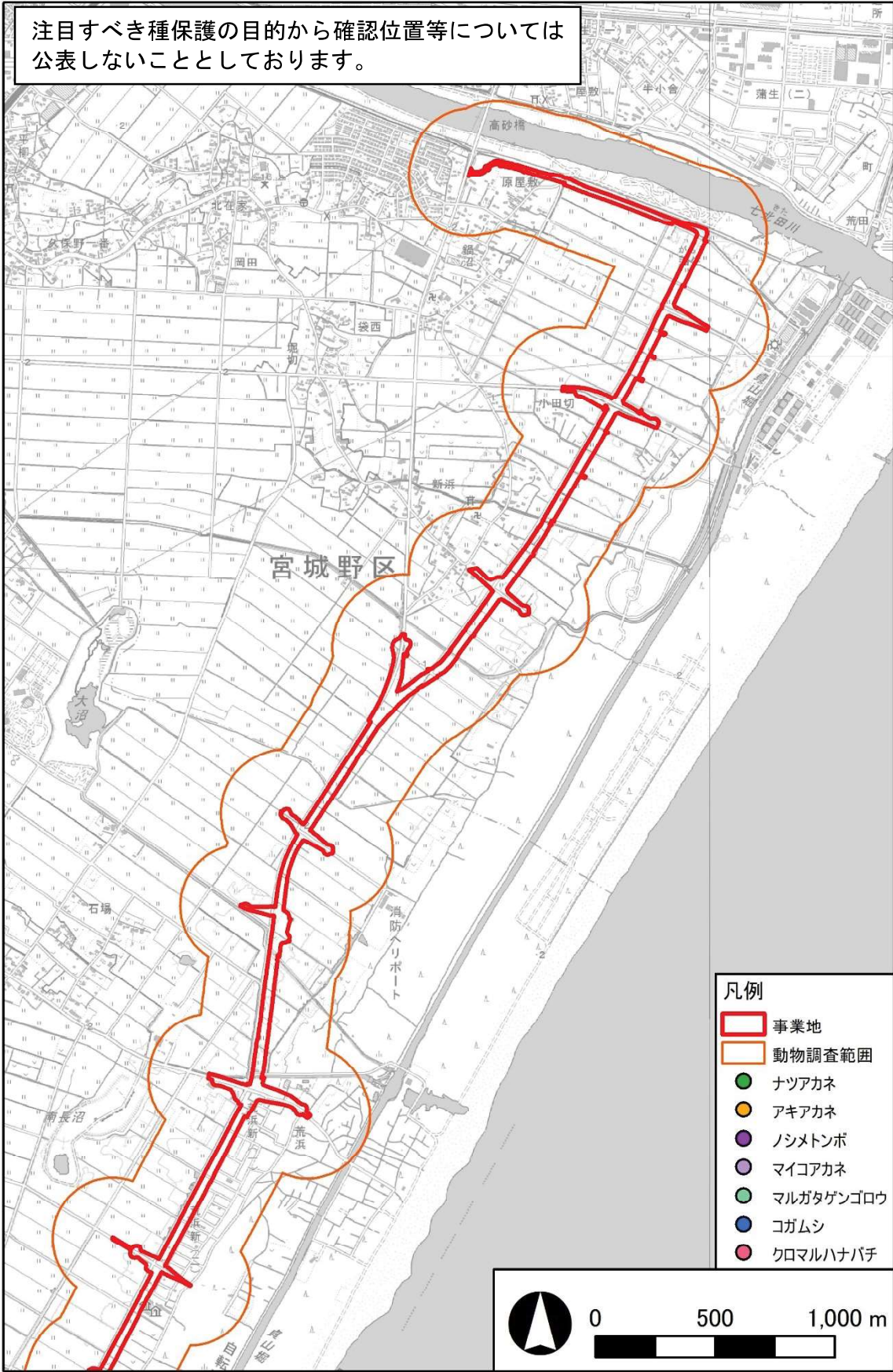


図 8.8-18 (1) 注目すべき種の確認位置：昆虫類秋季（北側）

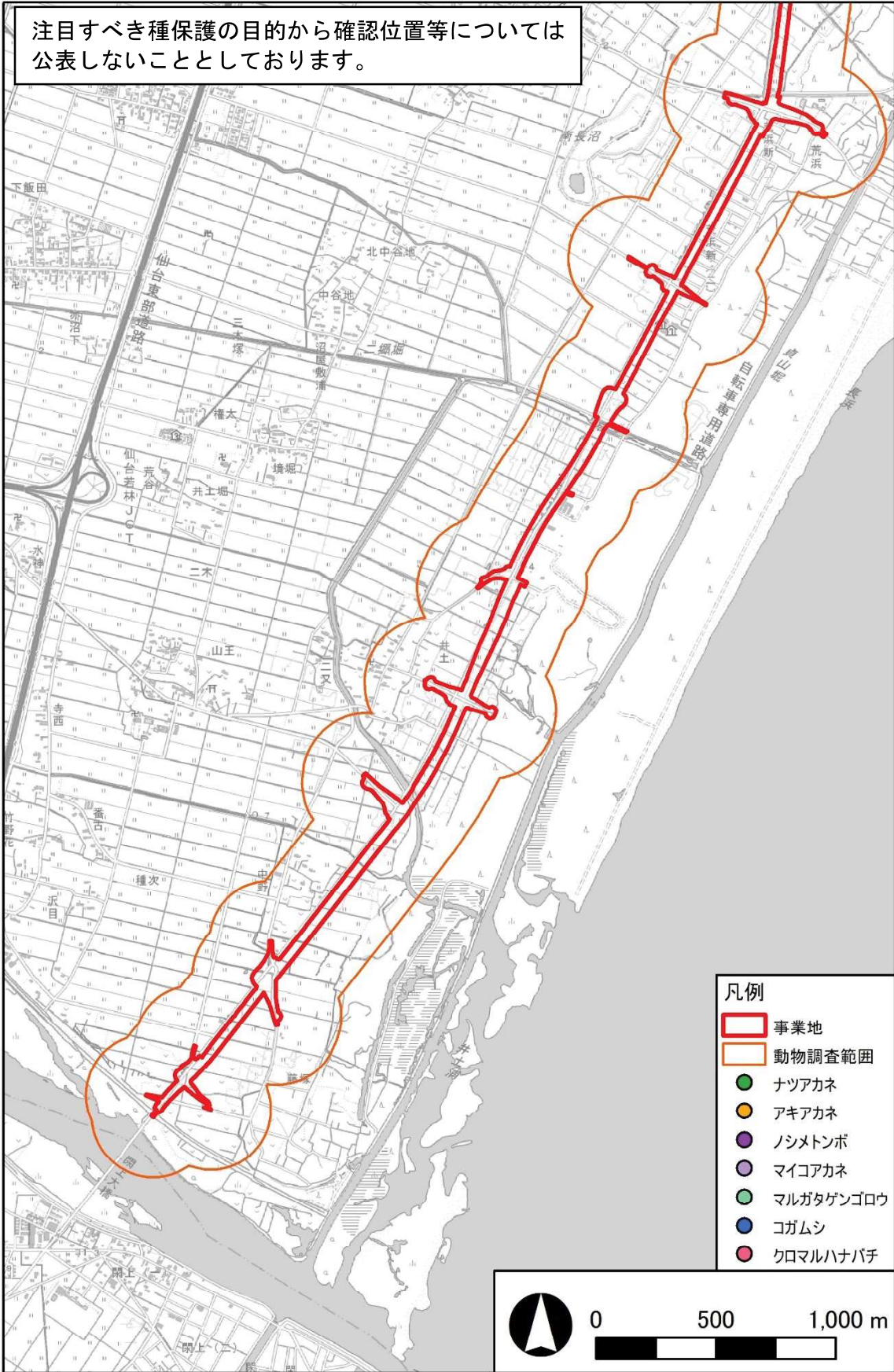


図 8.8-18 (2) 注目すべき種の確認位置：昆虫類秋季（南側）

(7) 底生動物

底生動物相の確認状況は表 8.8-13 に、主な確認種は写真 8.8-7 に示すとおりである。また、注目すべき種の確認状況は表 8.8-14 及び図 8.8-19～図 8.8-20 に示すとおりである。

初夏季と冬季調査の合計で、103 種の底生動物が確認された。

水路内では、イトミミズ目やヨコエビ目、ユスリカ科を多く確認したほか、シオカラトンボ、マルガタゲンゴロウ、コガシラミズムシなどの水生昆虫類も確認された。

■では、二枚貝類やゴカイ類を確認したほか、ケフサイソガニ等モクズガニ科を主に確認した。

このうち、注目すべき種は、サザナミツボ、ミズゴマツボ、ヤマトシジミ、モリノカマカ、アリアケモドキ、マルガタゲンゴロウの 6 種が確認された。

表 8.8-13 (1) 底生動物相の確認状況

科名	種名	評価書			工事中(H29~H30)				供用後(R2)					
		冬季	初夏季	計	冬季	初夏季 ^{※3}	計	初夏季	冬季	計				
		水路 ^{※1}	水路 ^{※1}		水路 ^{※1}	水路 ^{※1}		水路 ^{※1}	水路 ^{※1}		水路 ^{※1}			
マミズヒモムシ科	Prostoma属													
	紐形動物門の一種		○	○						○				○
ワカウラツボ科	サザナミツボ										○			○
ミズツボ科	コモチカワツボ				○					○				○
カワザンショウガイ科	Assiminea属の一種		○	○		○				○		○		○
ミズゴマツボ科	ミズゴマツボ				○					○				○
モノアラガイ科	ヒメモノアラガイ									○				○
サカマキガイ科	サカマキガイ									○				○
ヒラマキガイ科	ヒロマキミズマイマイ									○				○
	ヒラマキガイ科									○				○
イガイ科	ホトトギスガイ		○	○	○									
イタボガキ科	マガキ		○	○	○		○			○		○		○
ウロコガイ科	ウロコガイ科の一種		○	○	○							○		○
フナガタガイ科	ウネナシトマヤガイ									○				
シジミ科	ヤマトシジミ		○	○	○		○			○		○		○
	Corbicula属の一種	○		○		○				○		○		○
マメシジミ科	Pisidium属の一種									○				
マルスダレガイ科	アサリ		○	○	○							○		○
ニッコウガイ科	サビシラトリガイ						○			○				
	ヒメシラトリガイ				○	○								
アサジガイ科	シズクガイ				○	○								
シオサザナミ科	イトシジミ		○	○	○		○			○				○
	Nuttallia属											○		○
オキナガイ科	ソトオリガイ		○	○	○		○			○				
サンバゴカイ科	Eteone属の一種						○			○		○		○
ゴカイ科	ヒメヤマトカワゴカイ				○	○	○			○		○	○	○
	ヤマトカワゴカイ	○	○	○	○	○	○			○		○	○	○
	Hediste属の一種	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
スピオ科	ヤマトスピオ	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
	Prionospio属の一種						○			○				
	ドロオニスピオ		○		○	○	○			○				
	Pseudopolydora属の一種						○			○		○	○	○
	Rhynchospio属の一種												○	○
	スピオ科の一種		○		○	○								
イトゴカイ科	Capitella属の一種				○	○						○		○
	Heteromastus属の一種	○	○		○	○	○			○		○		○

表 8.8-13 (2) 底生動物相の確認状況

科名	種名	評価書			工事中 (H29~H30)				供用後 (R2)								
		冬季		初夏季		計	冬季		初夏季 ^{*3}		計	初夏季		冬季		計	
		水路 ^{*1}		水路 ^{*1}			水路 ^{*1}		水路 ^{*1}			水路 ^{*1}		水路 ^{*1}			
イトゴカイ科	<i>Notomastus</i> 属の一種	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○	
	イトゴカイ科の一種	○	○	○	○												
オフエリアゴカイ科	オフエリアゴカイ科の一種														○	○	
オヨギミズ科	オヨギミズ科の一種											○				○	
ミズミズ科	エラミミズ						○				○	○			○	○	
	フトゲユリミミズ														○	○	
	ユリミミズ						○				○	○			○	○	
	<i>Limnodrilus</i> 属の一種						○				○						
	ナミミズミミズ						○				○	○			○	○	
	クロオビミズミミズ														○	○	
	ヨゴレミズミミズ						○				○						
	ミズミズ科の一種	○	○	○	○	○						○	○	○	○	○	
フトミズ科	フトミズ科の一種						○				○	○				○	
ー	ミミズ綱の一種				○	○											
ヒラタビル科	ミドリビル						○				○						
	ヒラタビル科の一種										○				○	○	
ナガレビル科	ナガレビル科の一種						○				○	○				○	
フジツボ科	ヨーロッパフジツボ												○			○	
	シロスジフジツボ				○	○							○		○	○	
	タテジマフジツボ				○	○					○						
タナイス科	<i>Sineloebus</i> 属の一種		○		○	○						○	○		○	○	
シロクーマ科	シロクーマ科の一種		○		○	○						○	○		○	○	
ハマトビムシ科	<i>Platorchestia</i> 属の一種											○				○	
ユンボヨコエビ科	ニッポンドロソコエビ	○	○		○	○						○	○		○	○	
	<i>Grandiereilla</i> 属の一種						○	○			○	○			○	○	
ヒグナガヨコエビ科	<i>Ampithoe</i> 属の一種											○			○	○	
ドロクダムシ科	<i>Apocorophium</i> 属の一種												○			○	○
	ニホンドロクダムシ							○				○					
	アリアケドロクダムシ	○	○			○											
カマカヨコエビ科	モリノカマカ					○	○					○	○		○	○	
	<i>Kamaka</i> 属の一種				○	○						○	○		○	○	
メリタヨコエビ科	ヒゲツノメリタヨコエビ						○						○			○	
	シミズメリタヨコエビ	○	○		○	○					○	○				○	
	<i>Melita</i> 属の一種						○				○	○			○	○	
マミズヨコエビ科	フロリダマミズヨコエビ											○				○	
キタヨコエビ科	ヒスマヨコエビ														○	○	
	<i>Jesogammarus</i> 属の一種						○				○	○			○	○	
	キタヨコエビ科														○	○	
ハマトビムシ科	ニホンヒメハマトビムシ						○				○						
スナウミナナフシ科	<i>Cyathura</i> 属の一種						○					○			○	○	
ミズムシ科 (甲)	ミズムシ (甲)						○				○	○				○	
コツブムシ科	<i>Gnorimosphaeroma</i> 属の一種		○			○	○				○	○	○	○	○	○	
フナムシ科	キタフナムシ						○				○						
アミ科	クロイサザアミ						○				○	○			○	○	
	イサザアミ				○	○											
ヌマエビ科	<i>Neocaridina</i> 属の一種											○			○	○	
	ヌマエビ				○	○											
テナガエビ科	テナガエビ												○			○	
	ユビナガスジエビ							○				○				○	
	スジエビ				○	○	○					○				○	
	スジエビモドキ	○			○	○						○				○	
	<i>Palaeomon</i> 属の一種											○	○			○	
エビジャコ科	ウリタエビジャコ	○			○	○											
アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ				○	○					○	○			○	○	
ベンケイガニ科	クロベンケイガニ				○	○					○	○				○	
モクズガニ科	モクズガニ												○			○	
	アシハラガニ				○	○	○						○			○	
	ケフサイソガニ		○		○	○					○			○		○	
	タカノケフサイソガニ	○	○		○	○					○		○			○	
	<i>Hemigrapsus</i> 属の一種							○				○					

表 8.8-13 (3) 底生動物相の確認状況

科名	種名	評価書					工事中(H29~H30)					供用後(R2)				
		冬季		初夏季		計	冬季		初夏季※3		計	初夏季		冬季		計
		水路※1	■	水路※1	■		水路※1	■	水路※1	■		水路※1	■	水路※1	■	
ムツハアリアケガニ科	アリアケモドキ		○	○	○	○						○				○
コメツキガニ科	コメツキガニ				○	○										
	チゴガニ						○			○						
ヒメシロカゲロウ科	Caenis属の一種										○					○
コカゲロウ科	サホコカゲロウ										○					○
イトトンボ科	クロイトトンボ			○	○	○										
	Paracercion属の一種										○					○
ヤンマ科	クロスジギンヤンマ			○		○										
トンボ科	コフキトンボ			○		○										
	シオカラトンボ						○			○	○			○		○
	Sympetrum属の一種										○					○
アメンボ科	アメンボ										○					○
	ヒメアメンボ										○					○
	アメンボ科										○					○
ミズムシ科	クロチビミズムシ										○					○
	Micronecta属の一種										○					○
シマトビケラ科	コガタシマトビケラ										○					○
	Cheumatopsyche属の一種										○					○
ヒメトビケラ科	Hydroptila属の一種						○			○	○					○
エグリトビケラ科	Nemoura属の一種						○			○						
ガガンボ科	Tipula属の一種						○			○	○					○
	ガガンボ科の一種						○			○						
スカカ科	スカカ科の一種						○			○						
ユスリカ科	Benthalia属														○	○
	Chironomus属の一種	○		○		○	○			○	○			○	○	○
	Cricotopus属の一種						○			○	○			○	○	○
	Cryptochironomus属の一種						○			○	○			○	○	○
	Dicrotendipes属の一種										○			○	○	○
	Glyptotendipes属の一種						○			○	○			○	○	○
	Harnischia属の一種										○					○
	Hydrobaenus属の一種	○				○	○			○				○	○	○
	Limnophyes属の一種														○	○
	Macropelopia属の一種						○			○				○	○	○
	Monodiamesa属の一種													○	○	○
	Orthocladius属の一種										○			○	○	○
	Paratanytarsus属の一種										○					○
	Polypedium属の一種	○		○		○	○			○	○			○	○	○
	カモヤマユスリカ										○			○	○	○
	Procladius属の一種	○				○					○			○	○	○
	アカムシユスリカ														○	○
	Psectrotanytarsus属の一種	○				○										
	Pseudosmittia属の一種										○					○
	Rheotanytarsus属の一種										○					○
	Sergentia属の一種														○	○
Stictochironomus属の一種	○				○	○			○	○			○	○	○	
Tanytarsus属の一種						○			○	○	○		○	○	○	
Tretenia属の一種						○			○							
エリユスリカ亜科の一種	○				○					○						
ユスリカ科の一種						○				○	○			○	○	
アシナガバエ科	アシナガバエ科の一種														○	○
ミギワバエ科	ミギワバエ科の一種													○	○	○
ゲンゴロウ科	マルガタゲンゴロウ													○		○
	チビゲンゴロウ													○		○
	ヒメゲンゴロウ						○			○						
コガシラミズムシ科	コガシラミズムシ										○				○	
ガムシ科	キイロヒラタガムシ													○		○
	Hydrochara属の一種													○		○
71科	127種	17種	28種	18種	38種	56種	43種	29種	—	—	65種	64種	38種	35種	26種	103種

※1：水路は調査地点 GT1~10 地点の 10 地点の合計を示す。

※2：■は調査地点 GT11~GT13 の 3 地点の合計を示す。

※3：事業地近傍の震災後に一時的に形成された止水域で秋季と春季に確認した。



写真 8.8-7 主な確認種

表 8.8-14 注目すべき種の確認状況

種名	評価書	工事中	供用後		重要種選定基準※1					
		(H29～ H30)	(R2)	初夏季	冬季	①	②	③	④	⑤
サザナミツボ			○	○				NT	CR+EN	
ミズゴマツボ	※2	○	○	○				VU	DD	
ウネナシトマヤガイ		○						NT		
サビシラトリガイ		○						NT		
ヒメシラトリガイ	○								NT	
ヤマトシジミ	○	○	○	○	○			NT		
ミドリビル		○						DD		
モリノカマカ		○	○	○	○				DD	
アリアケモドキ	○		○	○					NT	
マルガタゲンゴロウ			○	○				VU		
10種	3種	6種	6種	6種	2種	0種	0種	7種	5種	0種

※1：表中の番号①～⑤は表 7.9-4 の選定基準に対応している

※2：事業地計画近傍の震災後に一時的に形成された止水域での確認。

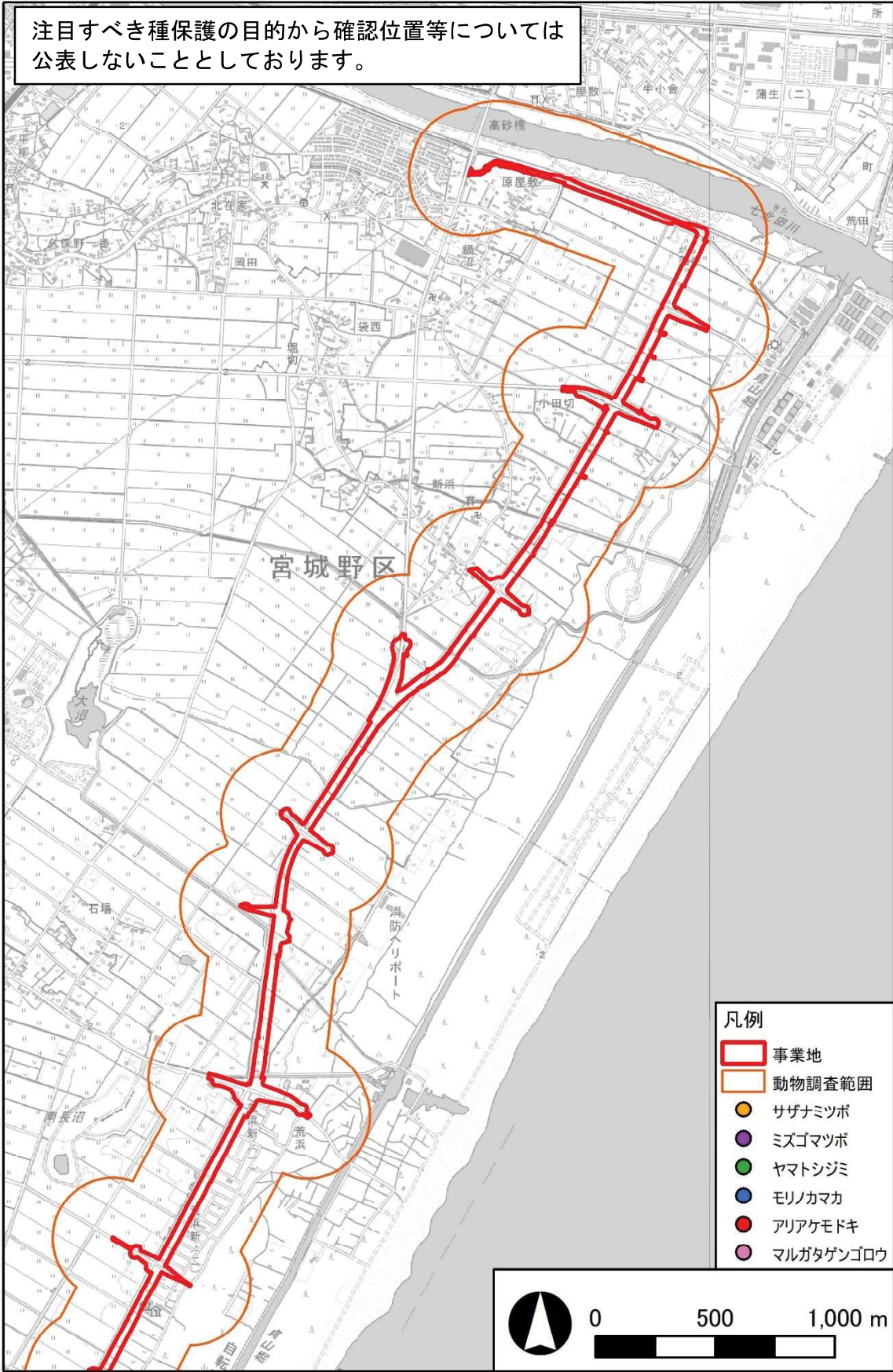


図 8.8-19 (1) 注目すべき種の確認位置：底生動物初夏季（北側）

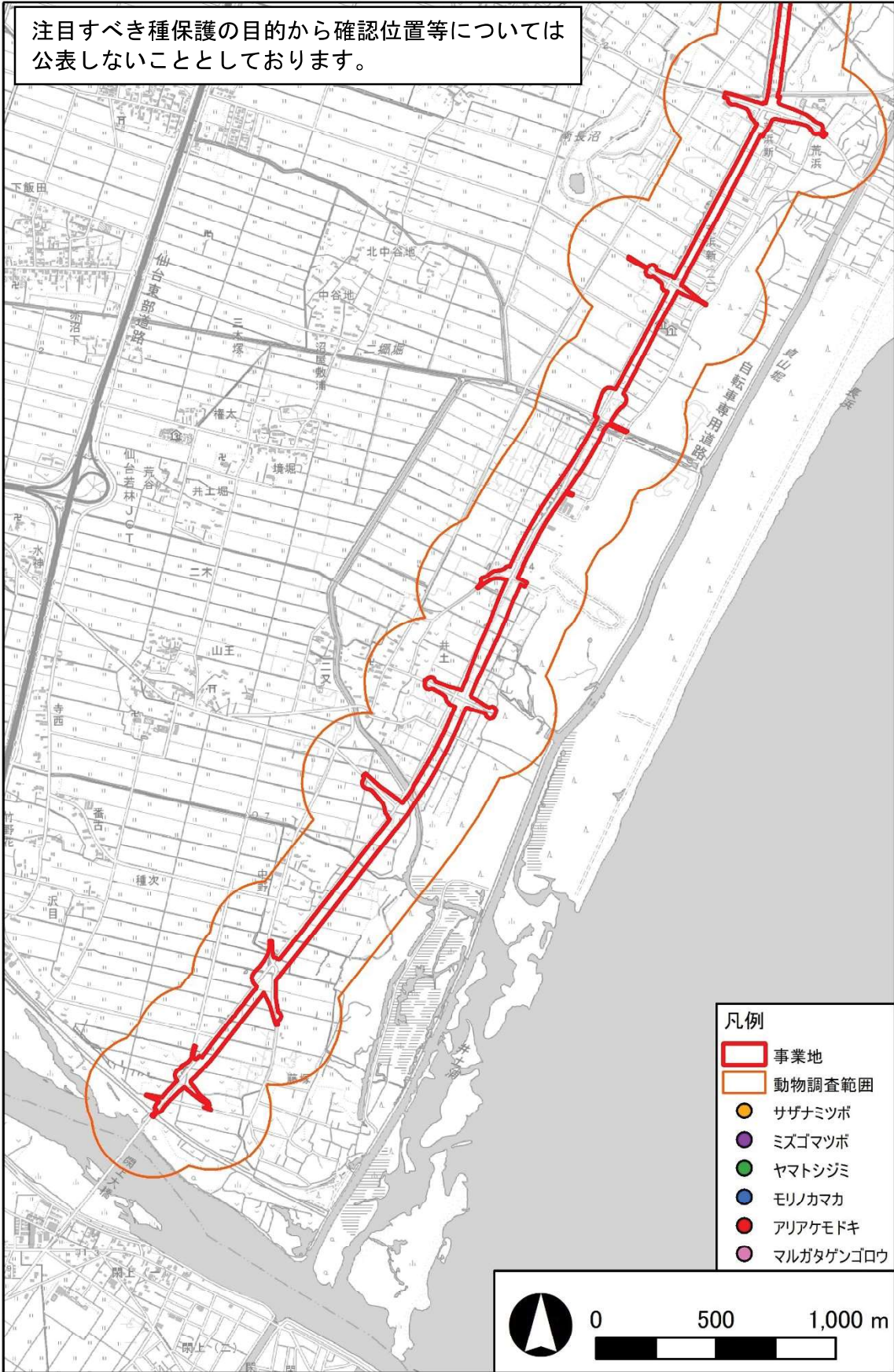


図 8.8-19 (2) 注目すべき種の確認位置：底生動物初夏季（北側）

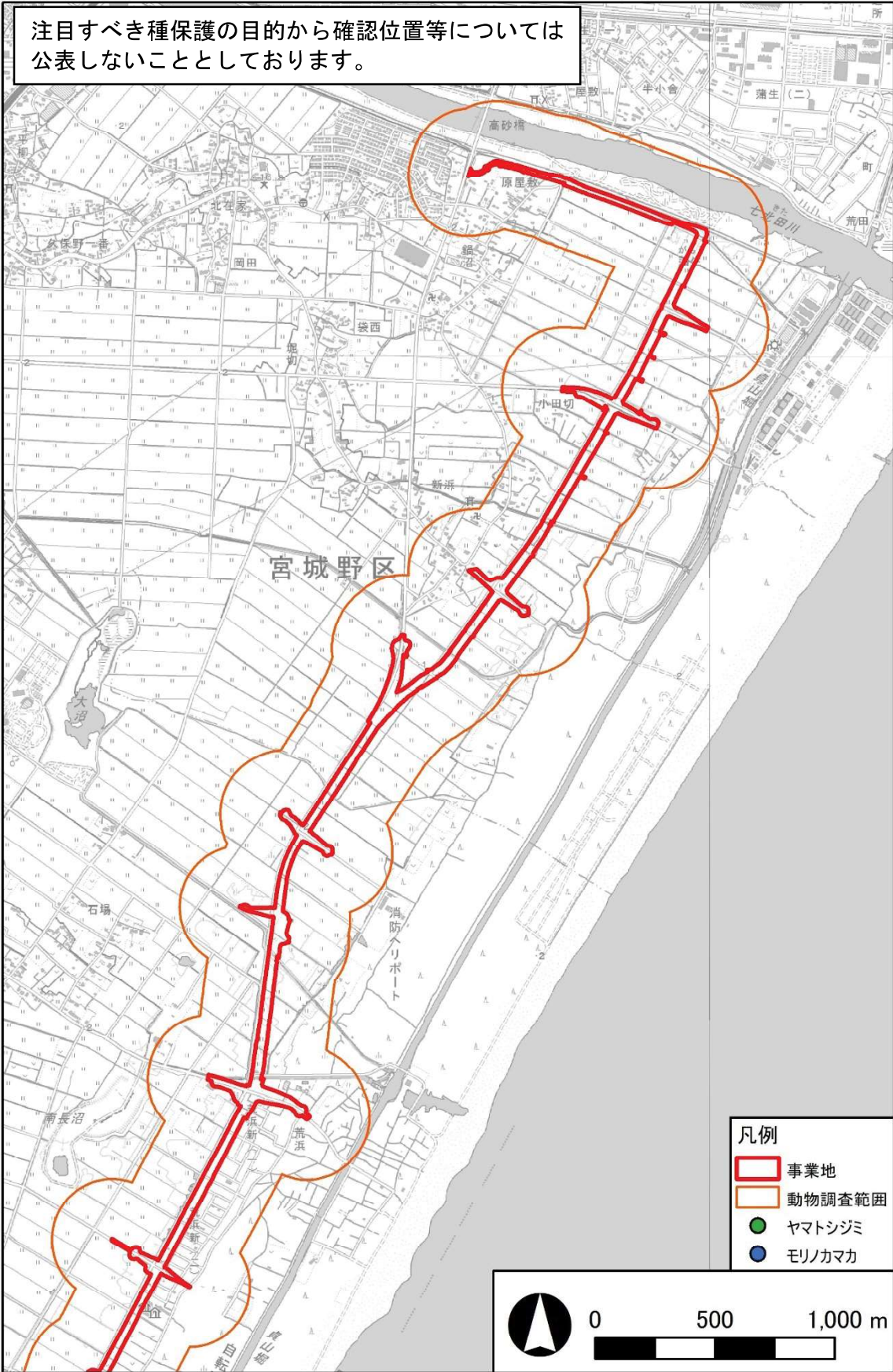


図 8.8-20 (1) 注目すべき種の確認位置：底生動物冬季（北側）

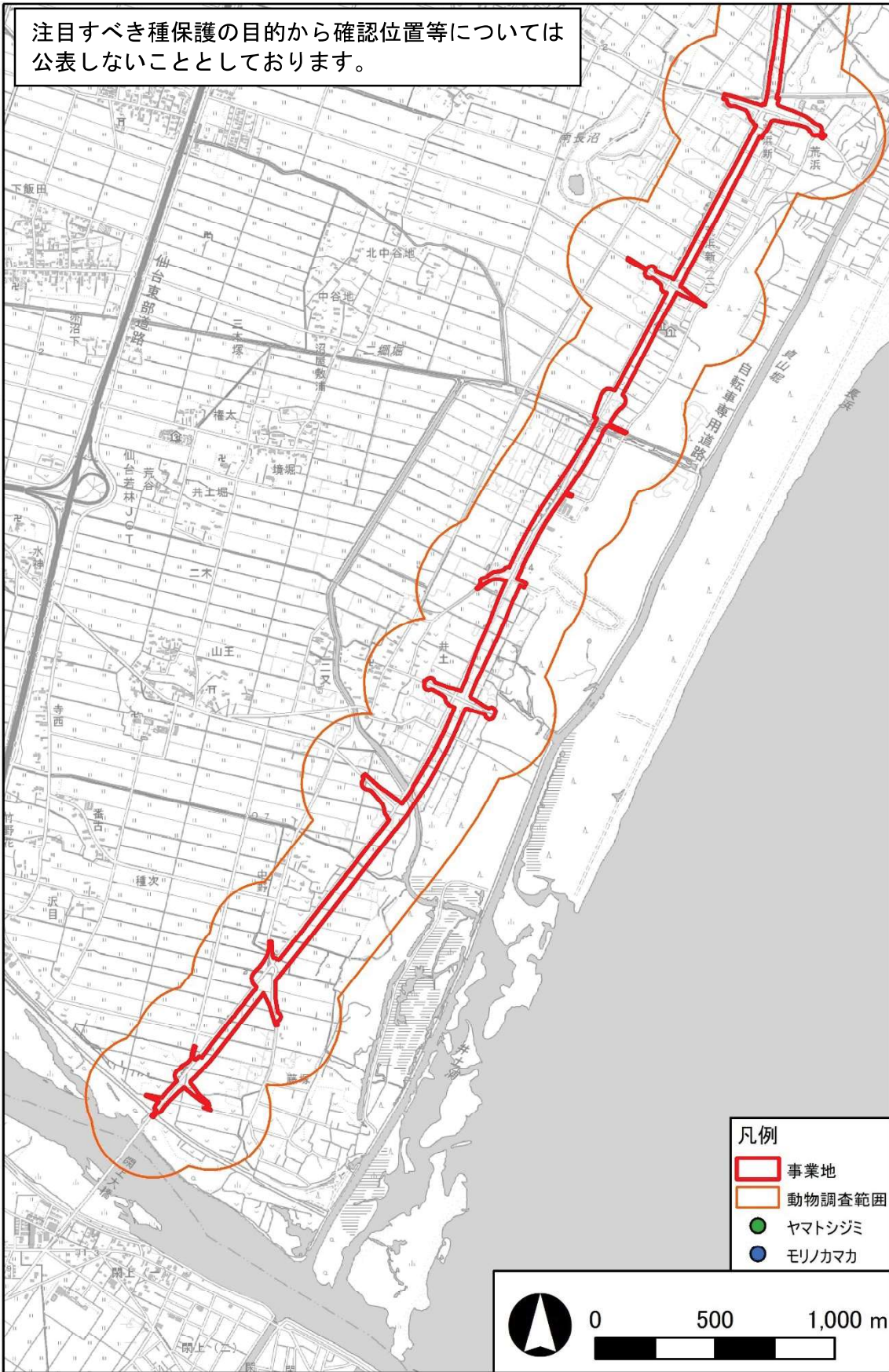


図 8.8-20 (2) 注目すべき種の確認位置：底生動物冬季（南側）

8.8.2 注目すべき生息地

注目すべき生息地における確認状況は、表 8.8-15 に示すとおりである。

表 8.8-15 注目すべき生息地

番号	地点名	環境特性	評価書時点	工事中 (H29~H30)	供用後 (R2)
CS1		の開放水域とその高水敷にヨシ群落が多く生育する。	注目すべき種を含む多様な動物が確認された。	の堤防嵩上げ工事が実施され河川敷は広い範囲で工事用ヤードとなっており、ヨシ群落は水際付近に帯状に残っている状態であったが、が確認された。の開放水面上ではが確認された。	の堤防嵩上げ工場の影響により広い範囲で裸地化した。ヨシ群落は水際付近に帯状に広く残っている。注目すべき種を含む多様な動物が確認された。
CS2		の開放水域とその高水敷にヨシやセイタカアワダチソウなどの高茎草本が多く生育する。ニセアカシアなどの木本類も生育する。	注目すべき種を含む多様な動物が確認された。	注目すべき種を含む多様な動物が確認された。	高水敷の工事により、工事用道路が整備され、水際近くまで重機が入り、改変されている状況であった。が確認された。
CS3		付近に止水域も存在する。	注目すべき種を含む多様な動物が確認された。	残存樹木の枯死が続き、林内が明るく藪地化しつつある。も確認された。止水域は減少しているが、ライトトラップではも確認された。	クロマツの枯死が進行し、まばらに生育している状態であり、林床は藪地化している。も確認された。止水域はヨシ群落により陸地化しており、開放水面は確認されなかった。
CS4		の開放水域とその周辺に小規模なヨシ群落が生育する。	注目すべき種を含む多様な動物が確認された。	注目すべき種を含む多様な動物が確認された。	にヨシ群落が形成されており、注目すべき種を含む多様な動物が確認された。
CS5		小規模であるがヒメガマが優占する止水域を伴う湿地である。	注目すべき種を含む多様な動物が確認された。 ※平成25年3月現在、この湿地は乾燥化しており、今後湿地性動物の生息地として回復するかどうか不明である。	止水域及び湿地は消失し、農地が復旧している。	止水域及び湿地は消失し、整地されて農地が復旧している状況であった。が確認された。

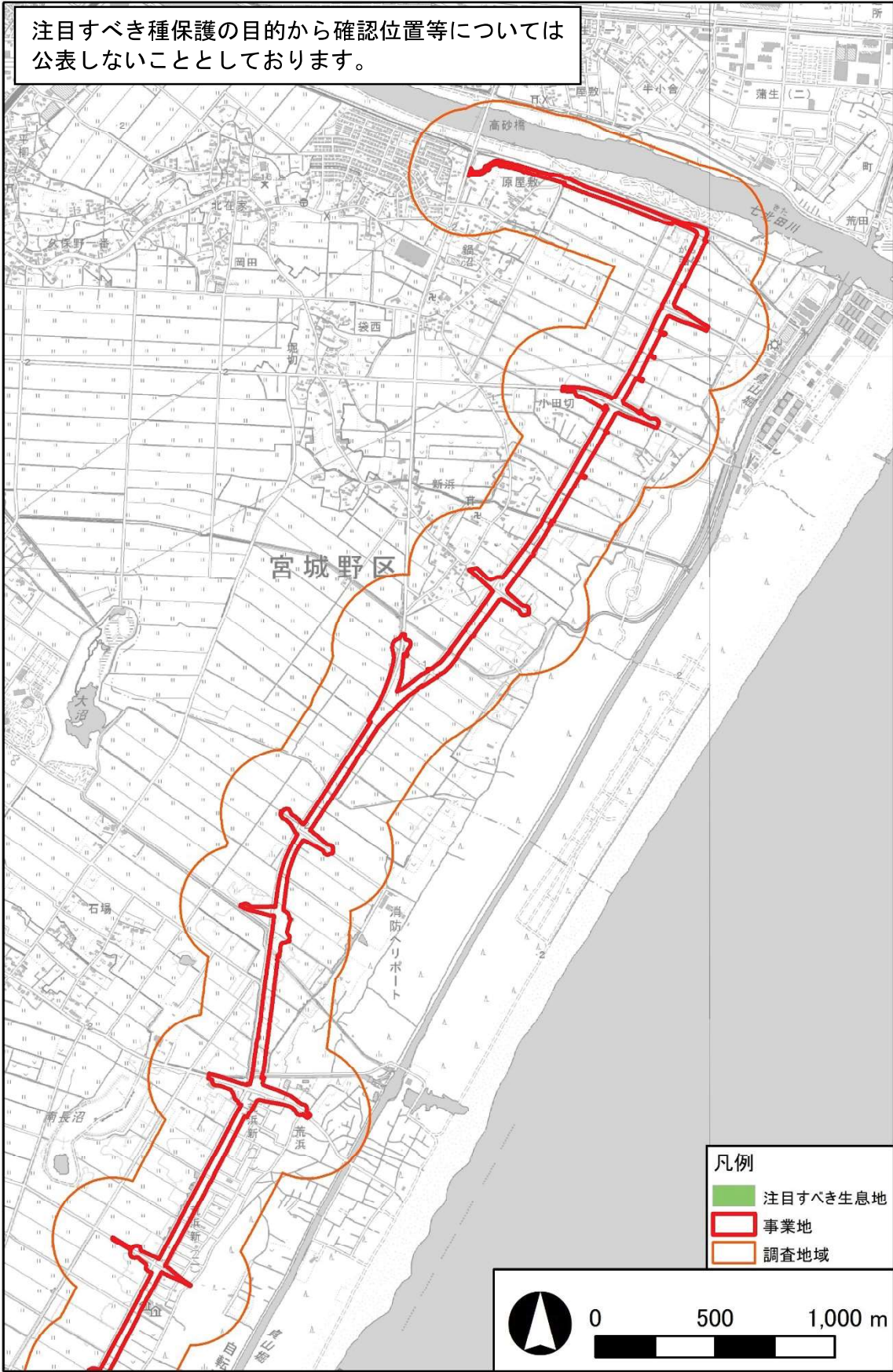


図 8.8-21 (1) 注目すべき生息地 (北側)

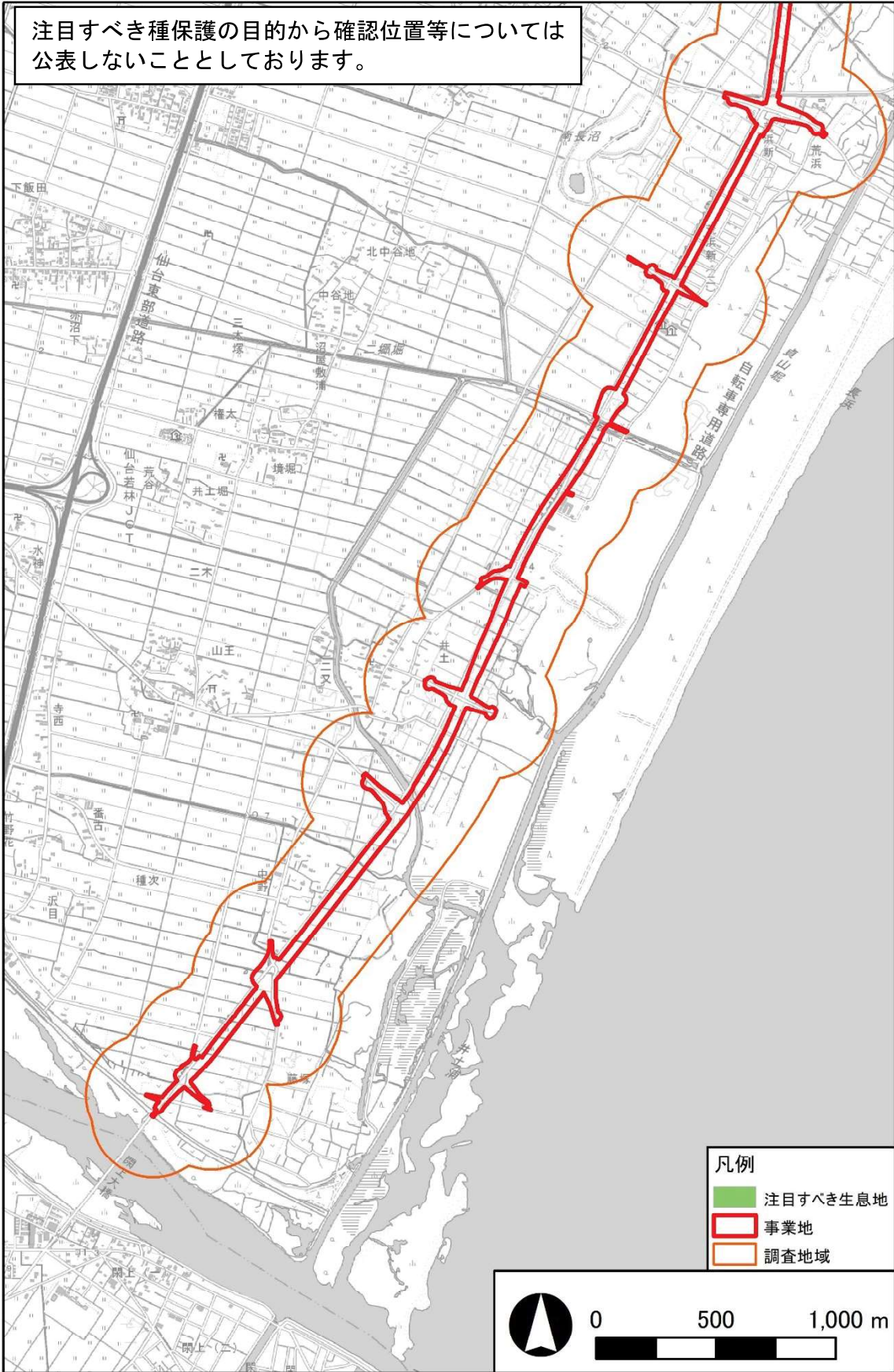


図 8.8-21 (2) 注目すべき生息地 (南側)